

J R 大湊線アンケート調査事業

報告書

令和6年5月

J R 大湊線活性化協議会

目 次

1. 調査目的	1
2. 実施概要	1
3. 調査結果（概要）	2
4. 沿線自治体における調査結果	3
5. 周辺自治体における調査結果	12
6. アンケート調査票	30

1. 調査目的

下北圏域住民及び上北圏域住民による大湊線の利用状況や大湊線に対する意見・ニーズ等を正確に把握するため、アンケート調査を実施。

今後の利用促進に向けた具体的な方策を検討・実施するための基礎データとする。

2. 実施概要

調査対象：令和5年10月31日時点で、下北地域（むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村）及び上北地域（野辺地町・横浜町・東北町・七戸町・六ヶ所村）に住所を有する15歳以上の方

調査方法：アンケート調査票の郵送による配布・回収

調査期間：令和5年12月22日（金）～令和6年1月31日（水）

配布・回収枚数：

- ✓ 統計学上、母集団（人口規模）が1千～10万人規模のアンケート調査を実施する場合、統計学上、回答（サンプル）数を300～400枚程度回収することができれば、信頼度95%、標本誤差5%の精度の回答となり、回答（サンプル）数を100枚程度回収することができれば、信頼度95%、標本誤差10%の精度の回答となる。

【沿線自治体】

- ✓ 沿線自治体においては、路線利用の詳細なデータを把握するため、回収目標枚数を400に設定。

市町村	人口	配布枚数 (回収率3割)	回収目標 枚数	回収枚数	回収率
むつ市(旧むつ)	43,296	1,300	400	553	42.54%
野辺地町	12,249	1,300	400	472	36.31%
横浜町	4,258	1,300	400	476	36.62%
合計	59,803	3,900	1,200	1,501	38.49%

【周辺自治体】

- ✓ 周辺自治体においては、路線利用の傾向を把握するため、回収目標枚数を100に設定。

市町村	人口	配布枚数 (回収率3割)	回収目標 枚数	回収枚数	回収率
むつ市(川内)	3,310	300	100	106	35.33%
むつ市(大畑)	5,915	300	100	107	35.67%
むつ市(脇野沢)	1,283	300	100	94	31.33%
大間町	4,868	300	100	109	36.33%
東通村	5,913	300	100	94	31.33%
風間浦村	1,673	300	100	107	35.67%
佐井村	1,732	300	100	110	36.67%
東北町	16,625	300	100	106	35.33%
七戸町	14,583	300	100	100	33.33%
六ヶ所村	9,845	300	100	83	27.67%
合計	65,747	3,000	1,000	1,016	33.87%

※1 標本誤差：アンケートで得た実際の数値の上下を表す。「はい」と答えた人が50%で標本誤差が5%の場合、母集団全体では45%～55%の人が「はい」と答えると考えられる。

※2 信頼度：信頼度はそのサンプルがどの程度の確率で許容誤差内の結果となるかを表す。一般的には90%、95%、99%で設定され、信頼度95%の場合「100回中95回は許容誤差内の結果に収まる」ことを示す。

3. 調査結果（概要）

【沿線自治体】

(1) むつ市（旧むつ）

- ✓ 路線を利用するとした回答の割合は46.5%であり、主な利用目的として「観光」や「趣味娯楽」の回答が多く、良く利用する曜日は「土曜日」と「金曜日」が多かった。
- ✓ また、駅までの移動手段に「自家用車」を回答する者が多く、**大湊線に求めるサービス改善**として、「**八戸駅直通便増便**」や「**青い森鉄道との乗り継ぎ改善**」の次に「**駅の駐車場の拡大**」を回答する者が多かった。
- ✓ 大湊線を週1回以上利用する人は全体の1.9%といった低い結果となる等、むつ市民にとって、大湊線は**観光路線としての利用が高い結果となった**。

(2) 野辺地町

- ✓ 路線を利用するとした回答の割合はむつ市及び横浜町に比べると10.6%と低い状況であったが、主な利用目的として「イベント」、「観光」、「通学」や「通院」等といった回答であり、良く利用する曜日は「土曜日」の次に「月曜日」と「日曜日」が多かった。
- ✓ また、駅までの移動手段に「徒歩」を回答する者が多く、**大湊線に求めるサービス改善策**として、「**イベント開催時の増便**」や「**平日運行本数の増便**」を回答する者が多かった。
- ✓ 大湊線を週1回以上利用する人は全体の18.0%といった高い結果となる等、一部の野辺地町民にとって、大湊線は**生活路線であり観光路線であるといった傾向**であった。

(3) 横浜町

- ✓ 路線を利用するとした回答の割合は41.4%であり、主な利用目的として「通院」、「買い物」や「通学」といった回答が多く、よく利用する曜日は「土曜日」次に「月曜日」が多かった。
- ✓ また、駅までの移動手段に「徒歩」を回答する者が多く、**大湊線に求めるサービス改善**として、「**平日運行本数の増便**」を一番多く回答する者が多かった。
- ✓ 大湊線を週1回以上利用する人は全体の36.7%といった高い結果となる等、横浜町民にとって、大湊線は**生活路線としての利用が高い結果となった**。

【周辺自治体】

(1) 下北地域（大間町・東通村・風間浦村・佐井村・むつ市（川内・大畑・脇野沢）

- ✓ 下北地域において、路線を利用するとした回答の割合は34.8%であり、駅までは72.2%が自家用車で移動しており、駐車場が足りないという要望が多い。
- ✓ 利用頻度は年1回から3~4回の者が75%以上で、金~日曜日に観光・長距離移動に使用しているという結果である。
- ✓ 下北地域にとって、大湊線は**生活路線よりも観光路線としての利用が高い結果**であった。

(2) 上北地域（東北町・七戸町・六ヶ所村）

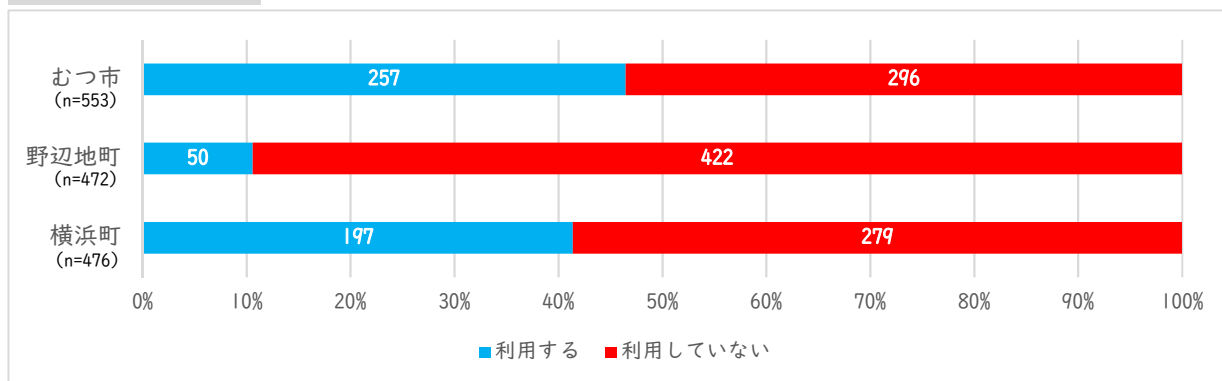
- ✓ 上北地域において、路線を利用するとした回答の割合は4.2%であり、利用しない理由は、「日常生活の中で大湊線を利用する目的がない」という回答が非常に多かった。
- ✓ 大湊線の必要性については、60%以上が「必要」と回答しているが、協力できることは「特にない」58.4%という結果であった。
- ✓ 上北地域にとって、大湊線は生活路線だけでなく、観光路線としてもあまり使われておらず、**他地域よりも路線の利用頻度が低いという結果**であった。

4. 沿線自治体における調査結果

(I) 大湊線の利用状況

① 路線利用の有無

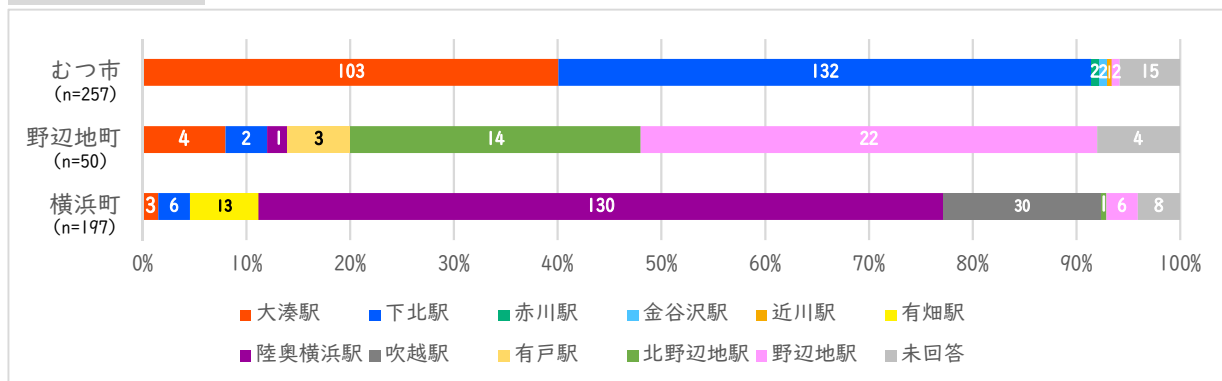
※グラフ内数値＝回答件数



- ✓ 沿線自治体において、大湊線を「利用する」に回答した割合は、
- ・むつ市 46.5%、横浜町 41.4%、野辺地町 10.6%の順となった。

② 主な乗車駅

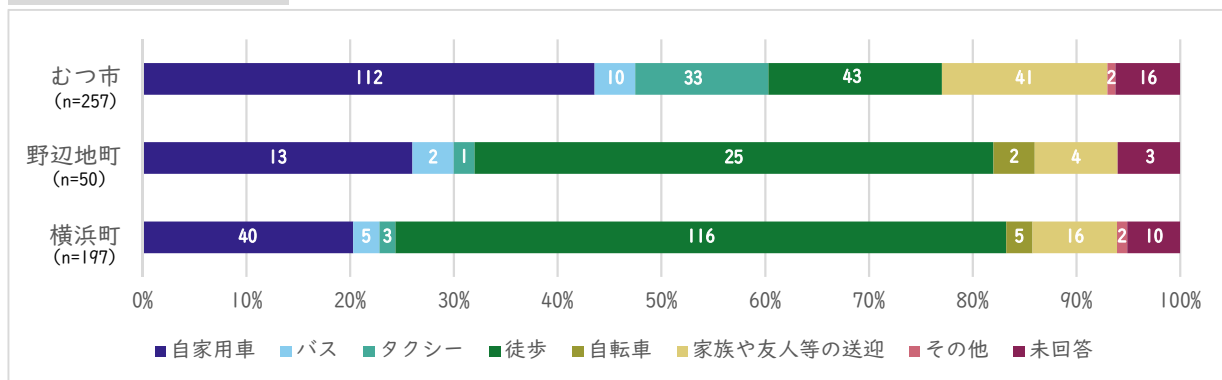
※グラフ内数値＝回答件数



- ✓ 大湊線を利用する場合における「主な乗車駅」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。
- ・むつ市(旧むつ)：下北駅 51.4%、大湊駅 40.1%、赤川駅・金谷沢駅・野辺地駅 0.8%
 - ・野 辺 地 町：野辺地駅 44.0%、北野辺地駅 14.0%、大湊駅 8.0%
 - ・横 浜 町：陸奥横浜駅 66.0%、吹越駅 15.2%、有畑駅 6.6%

③ 駅までの移動手段

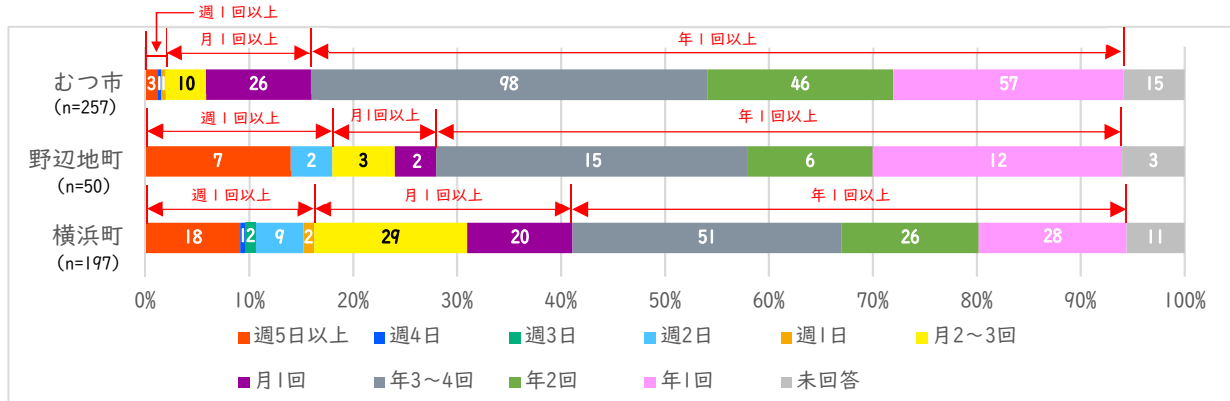
※グラフ内数値＝回答件数



- ✓ 大湊線を利用する場合における「駅までの移動手段」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。
- ・むつ市(旧むつ)：自家用車 43.6%、徒歩 16.7%、家族等の送迎 16.0%
 - ・野 辺 地 町：徒歩 50.0%、自家用車 26.0%、家族等の送迎 8.0%
 - ・横 浜 町：徒歩 58.9%、自家用車 20.3%、家族等の送迎 8.1%

④ 利用頻度

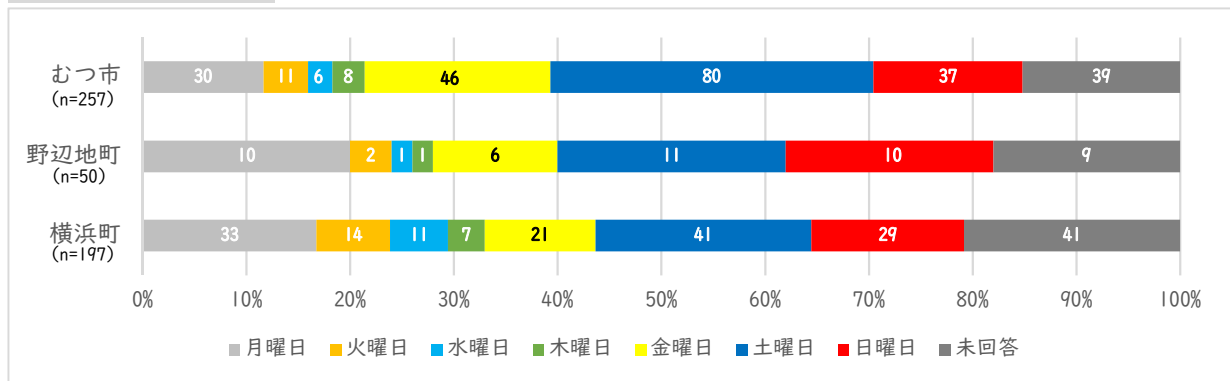
※グラフ内数値=回答件数



- ✓ 大湊線を利用する場合における「利用頻度」の回答の割合については、以下のとおりとなった。
- ・むつ市(旧むつ)：週1回以上の利用 1.9%、月1回以上の利用 16.0%、年1回以上の利用 78.2%
 - ・野 辺 地 町：週1回以上の利用 18.0%、月1回以上の利用 28.0%、年1回以上の利用 66.0%
 - ・横 浜 町：週1回以上の利用 16.2%、月1回以上の利用 41.1%、年1回以上の利用 53.3%

⑤ よく利用する曜日

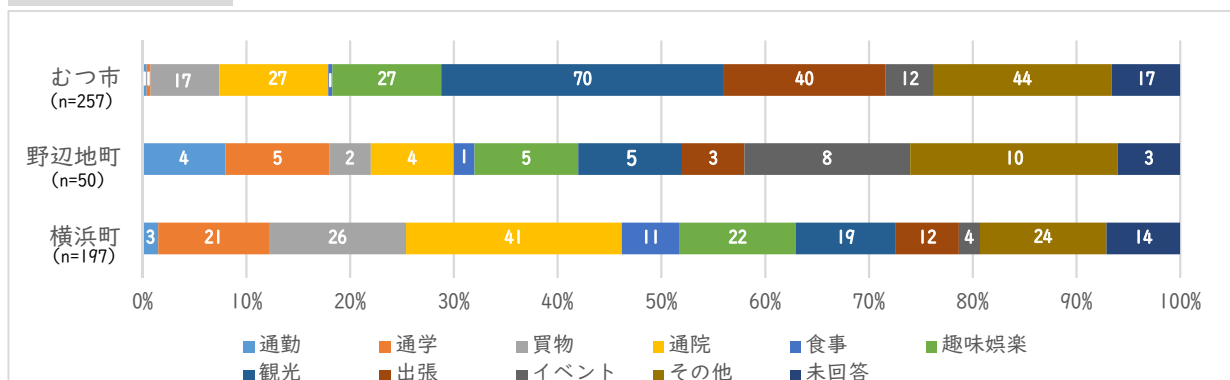
※グラフ内数値=回答件数



- ✓ 大湊線を利用する場合における「よく利用する曜日」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。
- ・むつ市(旧むつ)：土曜日 31.1%、金曜日 17.9%、日曜日 14.4%
 - ・野 辺 地 町：土曜日 22.0%、月曜日及び日曜日 20.0%
 - ・横 浜 町：土曜日 20.8%、月曜日 16.8%、日曜日 14.7%

⑥ 主な利用目的

※グラフ内数値=回答件数

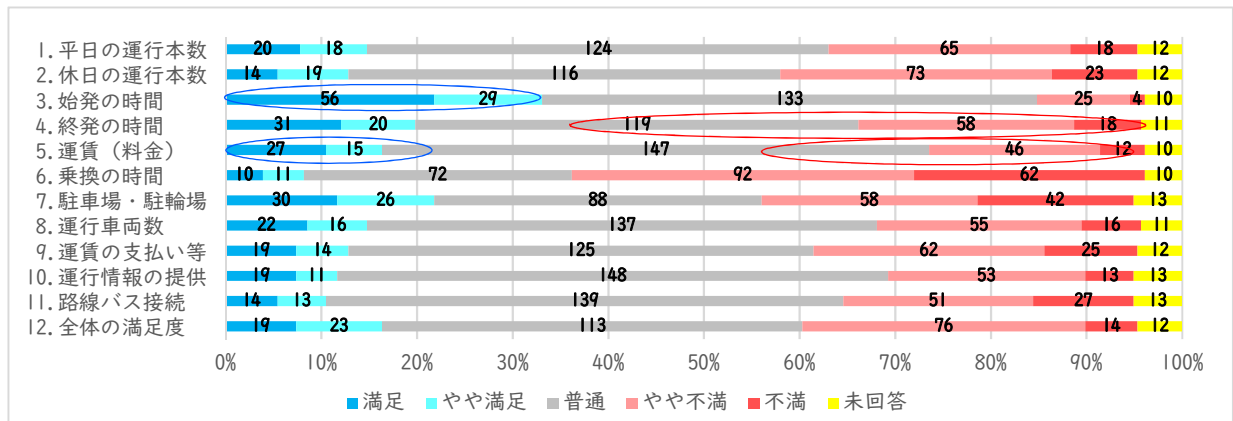


- ✓ 大湊線を利用する場合における「主な利用目的」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。※その他を除く
- ・むつ市(旧むつ)：観光 27.2%、出張 15.6%、通院・趣味娯楽 10.5%
 - ・野 辺 地 町：イベント 16.0%、通学・趣味娯楽・観光 10%、通勤・通院 8%
 - ・横 浜 町：通院 20.8%、買物 13.2%、趣味娯楽 11.2%

(2) 大湊線の満足度

① むつ市 n=257

※グラフ内数値=回答件数

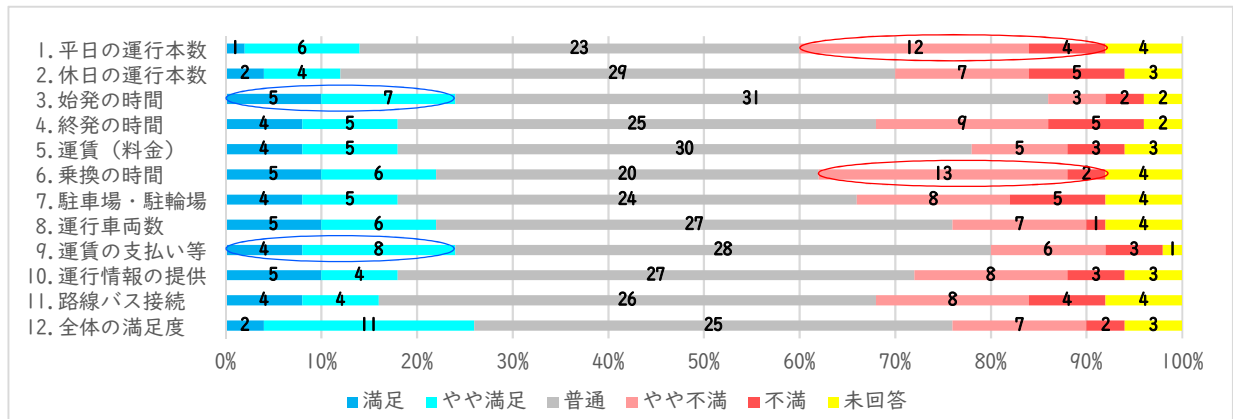


✓ 満足・やや満足については、3. 始発の時間 33.1%、7. 駐車場・駐輪場 21.8%が高い結果となった。

✓ 不満・やや不満については、6. 乗換の時間 59.9%、7. 駐車場・駐輪場 38.9%が高い結果となった。

② 野辺地町 n=50

※グラフ内数値=回答件数

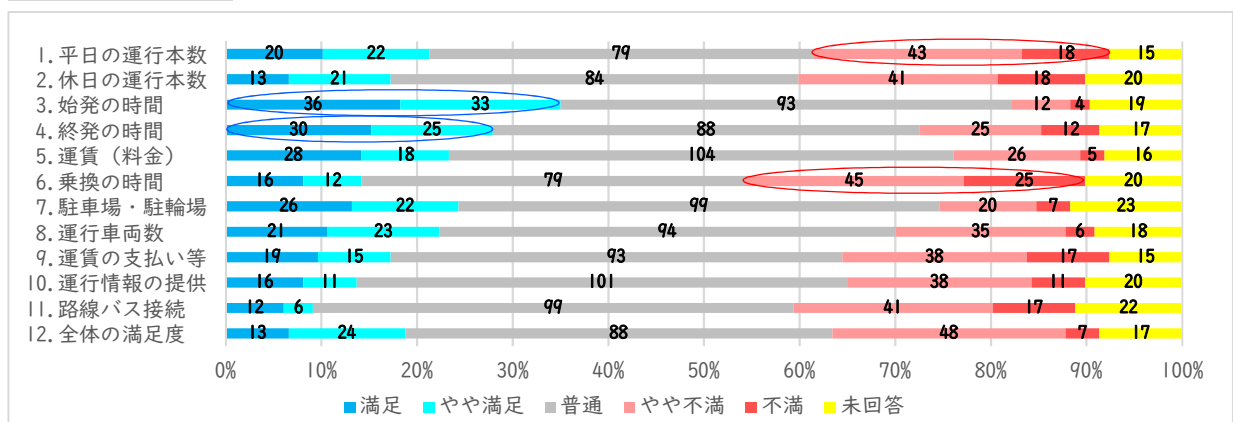


✓ 満足・やや満足については、3. 始発の時間及び 9. 運賃の支払い等がともに 24.0%と高い結果となった。

✓ 不満・やや不満については、1. 平日の運行本数 32.0%、6. 乗換の時間 25.0%と高い結果となった。

③ 横浜町 n=197

※グラフ内数値=回答件数



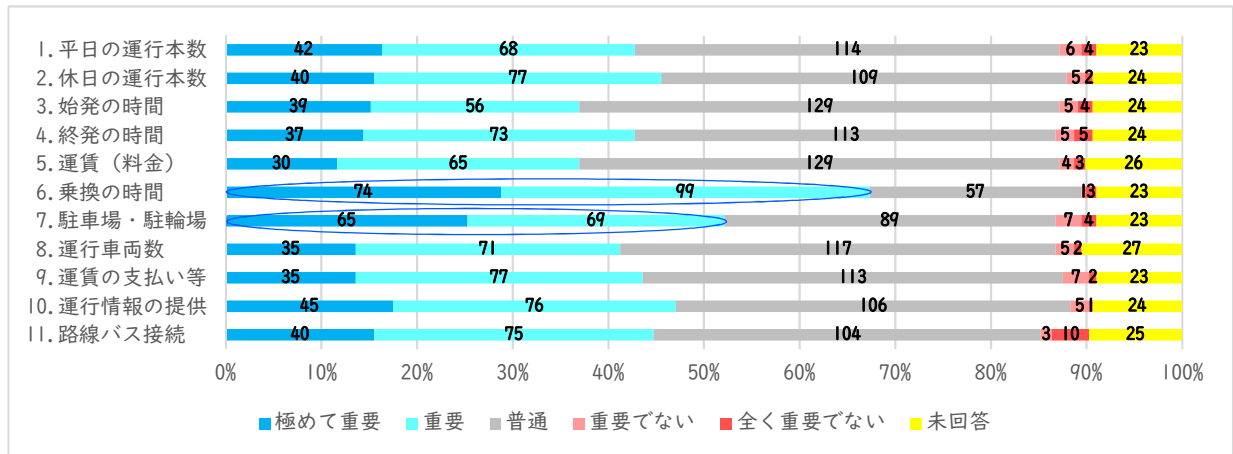
✓ 満足・やや満足については、3. 始発の時間 35.0%、4. 終発の時間 21.4%が高い結果となった。

✓ 不満・やや不満については、6. 乗換の時間 27.2%、1. 平日の運行本数 23.7%が高い結果となった。

(3) 大湊線の重要度

① むつ市 n=257

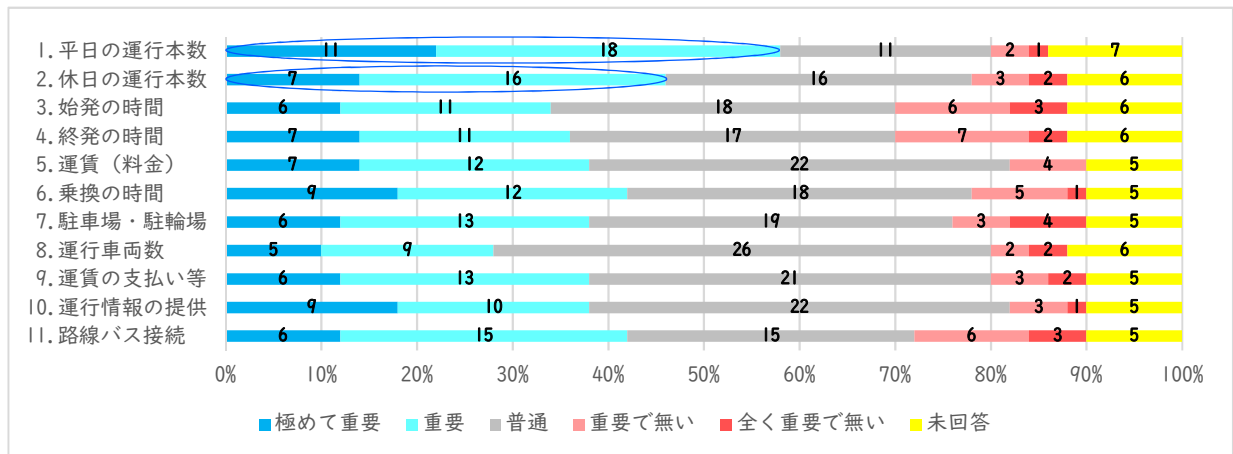
※グラフ内数値=回答件数



- ✓ 極めて重要・重要については、6.乗換の時間 67.3%、
7.駐車場・駐輪場 52.1%が高い結果となった。

② 野辺地町 n=50

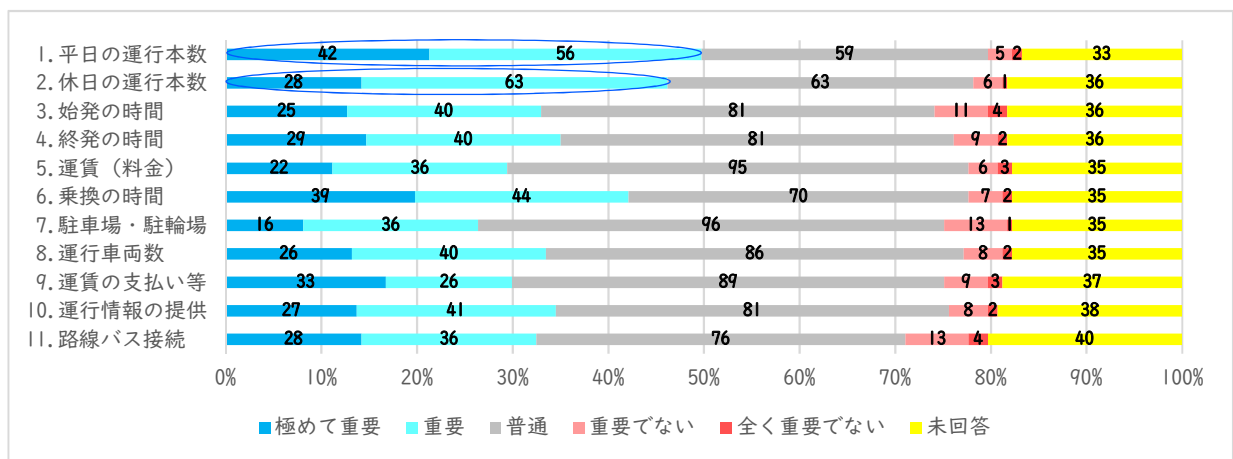
※グラフ内数値=回答件数



- ✓ 極めて重要・重要については、1.平日の運行本数 58.0%、
2.休日の運行本数 46.0%が高い結果となった。

③ 横浜町 n=197

※グラフ内数値=回答件数

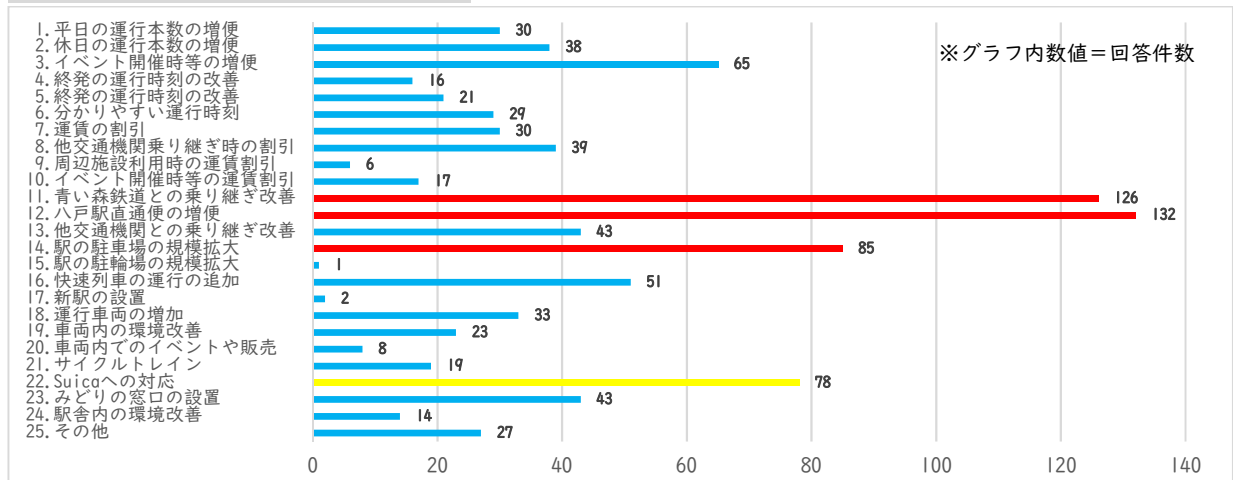


- ✓ 極めて重要・重要については、1.平日の運行本数 49.7%、
2.休日の運行本数 46.2%が高い結果となった。

(4) 大湊線のサービス改善策について

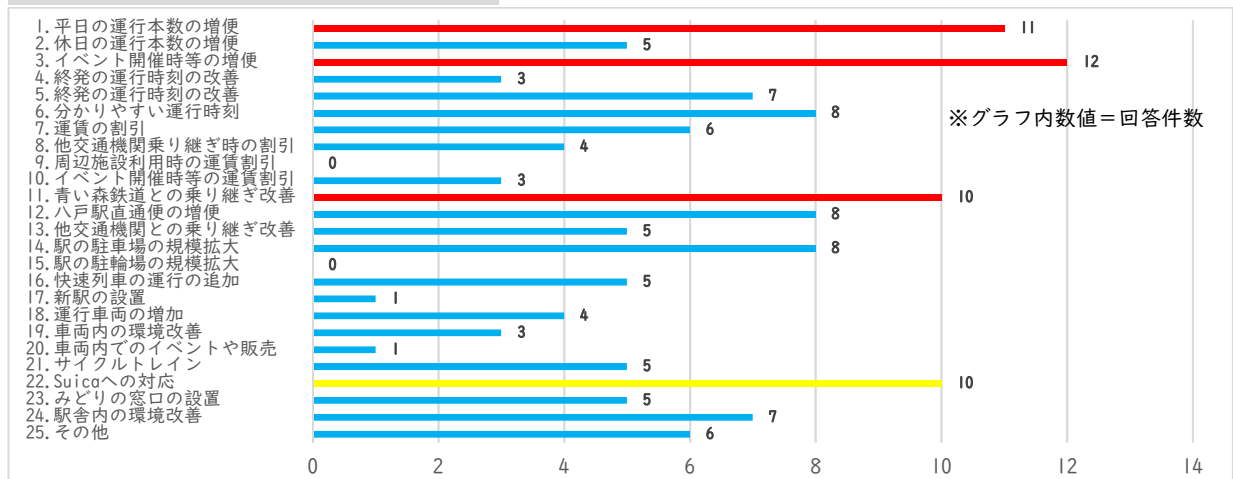
① サービス改善策の回答（むつ市）

※複数回答可（1人5つまで）、回答総数：976件



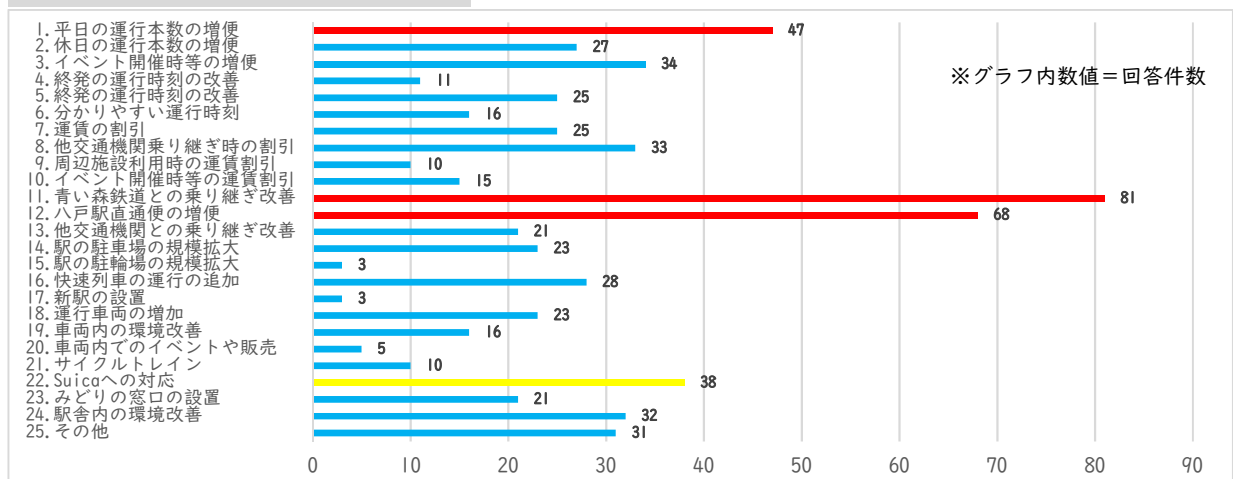
② サービス改善策の回答（野辺地町）

※複数回答可（1人5つまで）、回答総数：137件



③ サービス改善策の回答（横浜町）

※複数回答可（1人5つまで）、回答総数：646件



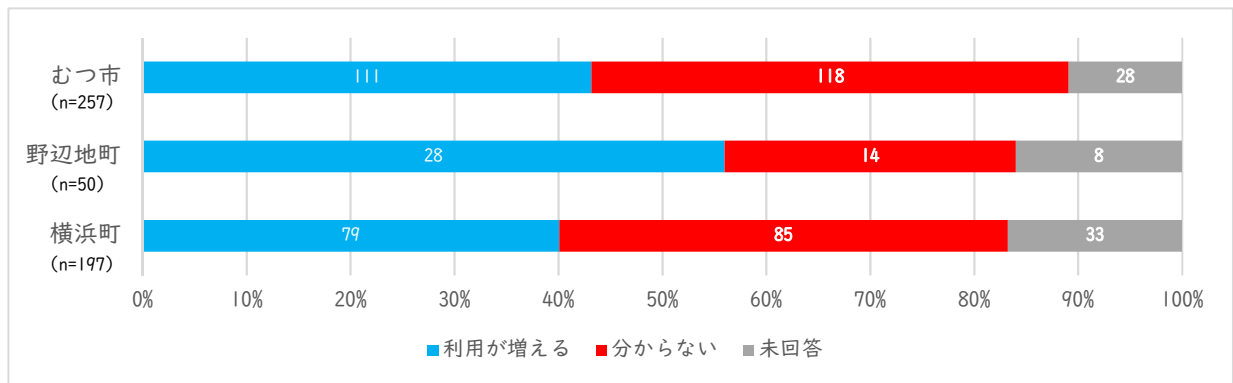
✓ 「大湊線のサービス改善策」について、自治体ごとの上位3位は上表の赤線グラフのとおりとなるが、3自治体共通して「1. 平日の運行便数の増便」、「11. 青い森鉄道との乗り継ぎ改善」や「12. 八戸駅直通便の増便」等といった運行本数や乗り継ぎ改善に関する項目が他の項目に比べて多い回答となった。

✓ また、「22. Suicaへの対応」も他の項目に比べて高い回答数となった。

④ サービスの向上（改善）によって、大湊線の利用回数は増えるか

※(4)大湊線サービス改善策についての回答者のみを対象

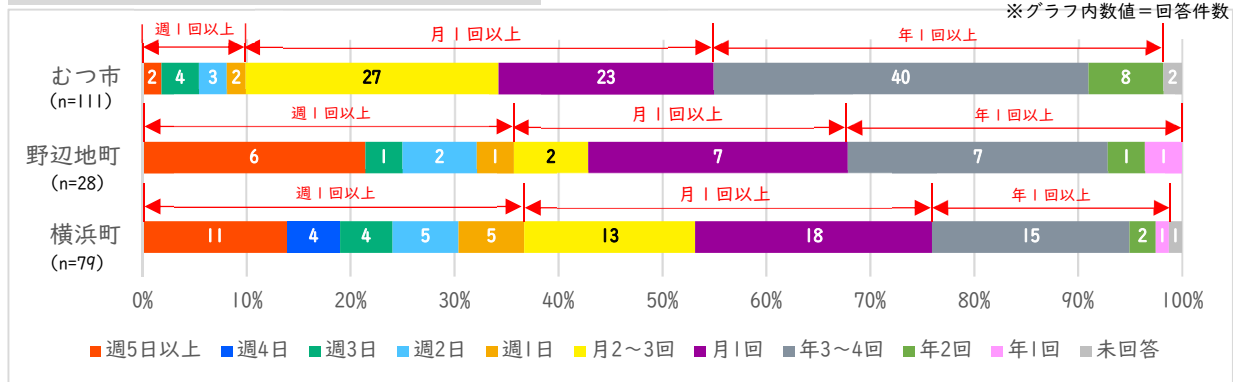
※グラフ内数値＝回答件数



✓ サービスの向上（改善）によって、大湊線の利用は40～50%程度増えるといった回答となった。

⑤ 大湊線の利用頻度はどの程度増えるか ※④において、「利用が増える」を回答した方を対象

※グラフ内数値＝回答件数

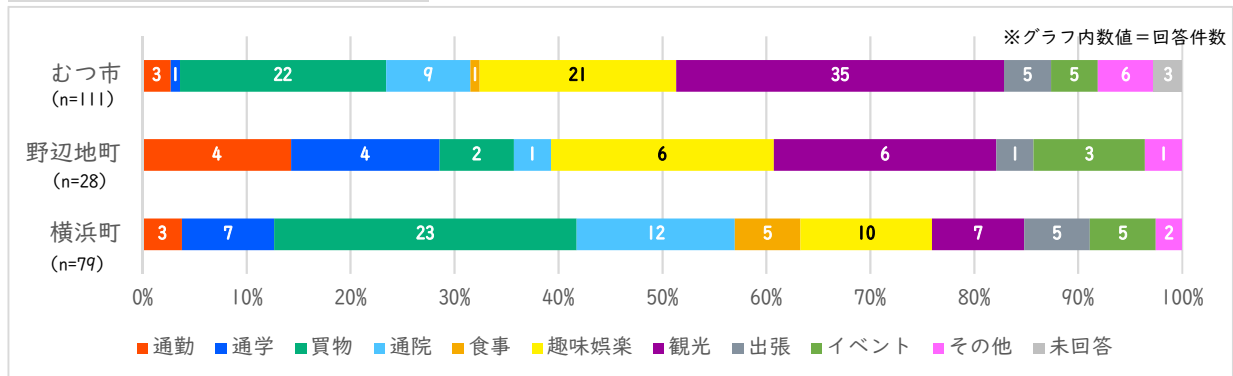


✓ ④において、「利用が増える」を回答した者のうち、「大湊線の利用頻度がどの程度増えるか」に回答した者の割合については、以下のとおりとなった。

- ・むつ市(旧むつ)：週1回以上の利用 9.9%、月1回以上の利用 45.0%、年1回以上の利用 43.2%
- ・野 辺 地 町：週1回以上の利用 35.7%、月1回以上の利用 32.1%、年1回以上の利用 32.1%
- ・横 浜 町：週1回以上の利用 36.7%、月1回以上の利用 39.2%、年1回以上の利用 22.8%

⑥ 大湊線の利用目的は増えるか ※④において、「利用が増える」を回答した者を対象

※グラフ内数値＝回答件数



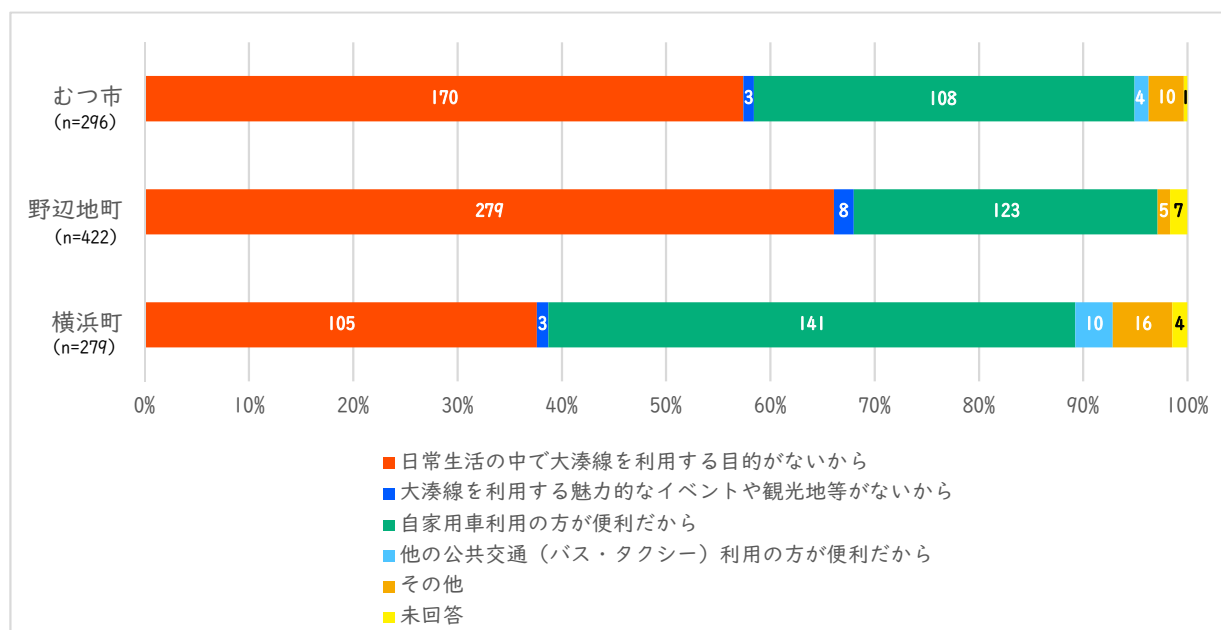
✓ ④において、「利用が増える」を回答した者のうち、「大湊線の利用目的は増えるか」に回答した者の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。

- ・むつ市(旧むつ)：観光 31.5%、買物 19.8%、趣味娯楽 18.9%
- ・野 辺 地 町：趣味娯楽・観光 21.4%、通勤・通学 14.3%、イベント 10.7%
- ・横 浜 町：買物 29.1%、通院 15.2%、趣味娯楽 12.7%

(5) 大湊線を利用していない理由

※(1)大湊線の利用状況、①利用の有無で全く利用していない方を対象

※グラフ内数値＝回答件数



✓ 「大湊線を利用していない理由」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。

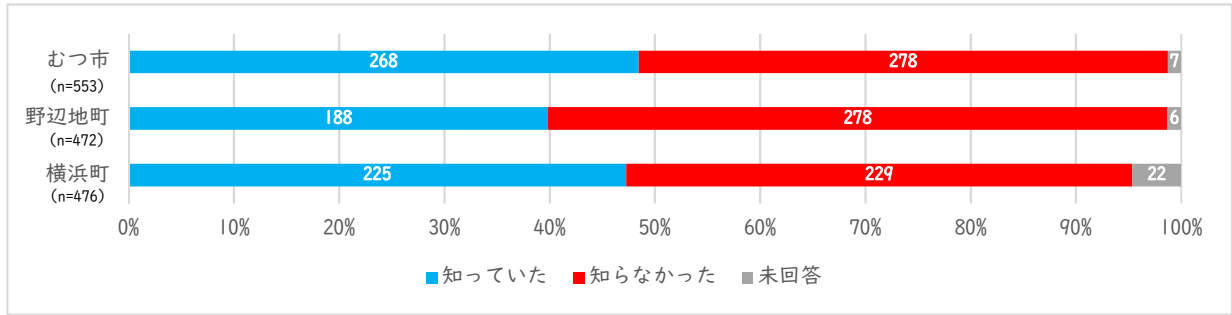
※その他を除く

・むつ市(旧むつ)	日常生活の中で大湊線を利用する目的がないから	57.4%
	自家用車利用の方が便利だから	36.5%
	他の公共交通（バス・タクシー）利用の方が便利だから	1.4%
・野辺地町	日常生活の中で大湊線を利用する目的がないから	66.1%
	自家用車利用の方が便利だから	29.1%
	大湊線を利用する魅力的なイベントや観光地等がないから	1.9%
・横浜町	自家用車利用の方が便利だから	50.5%
	日常生活の中で大湊線を利用する目的がないから	37.6%
	他の公共交通（バス・タクシー）利用の方が便利だから	3.6%

(6) 大湊線に対する考えについて

① 大湊線の平均通過人員について ※2019 年度 533 人/日

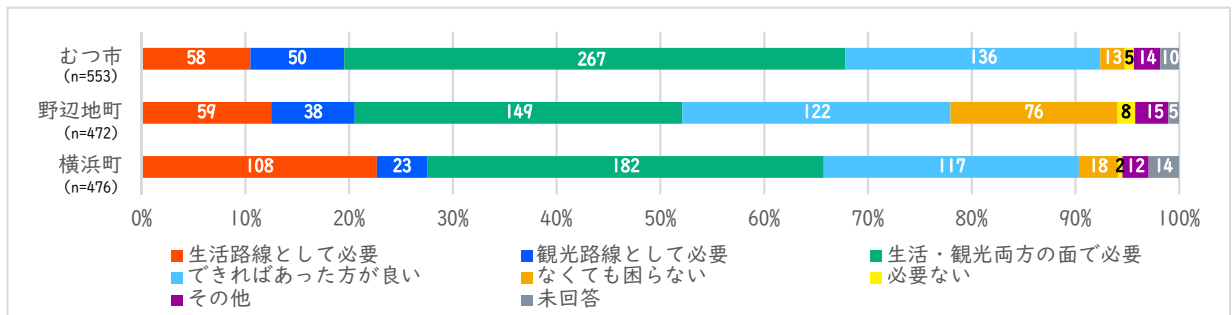
※グラフ内数値 = 回答件数



- ✓ JR 東日本が公表した平均通過人員 2,000 人/日未満の利用の少ない線区について、大湊線が対象となっていることを知っている人は、各自治体において、40～50%程度といった回答となった。

② 大湊線についてどのように考えているか

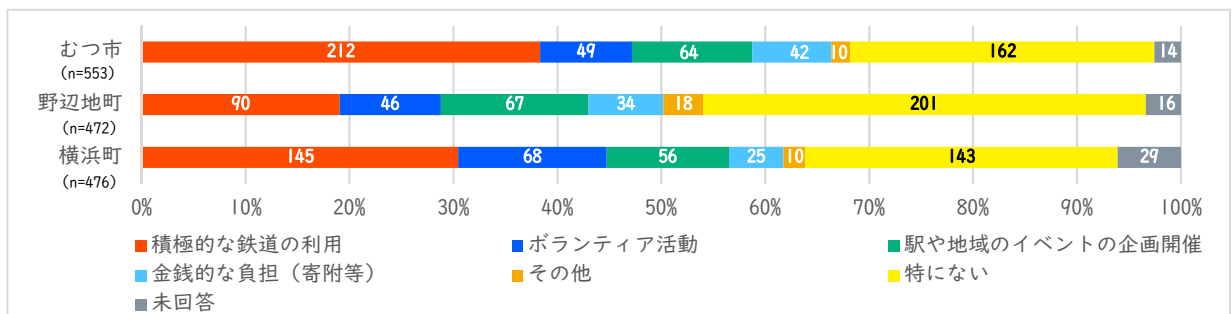
※グラフ内数値 = 回答件数



- ✓ 「大湊線についてどのように考えているか」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。
- ・むつ市(旧むつ)：生活・観光両方の面で必要 48.3%、できればあった方がよい 24.6%、生活路線として必要 10.5%
 - ・野辺地町：生活・観光両方の面で必要 31.6%、できればあった方がよい 25.8%、なくても困らない 16.1%
 - ・横浜町：生活・観光両方の面で必要 38.2%、できればあった方がよい 24.6%、生活路線として必要 22.7%

③ 大湊線について協力できること

※グラフ内数値 = 回答件数



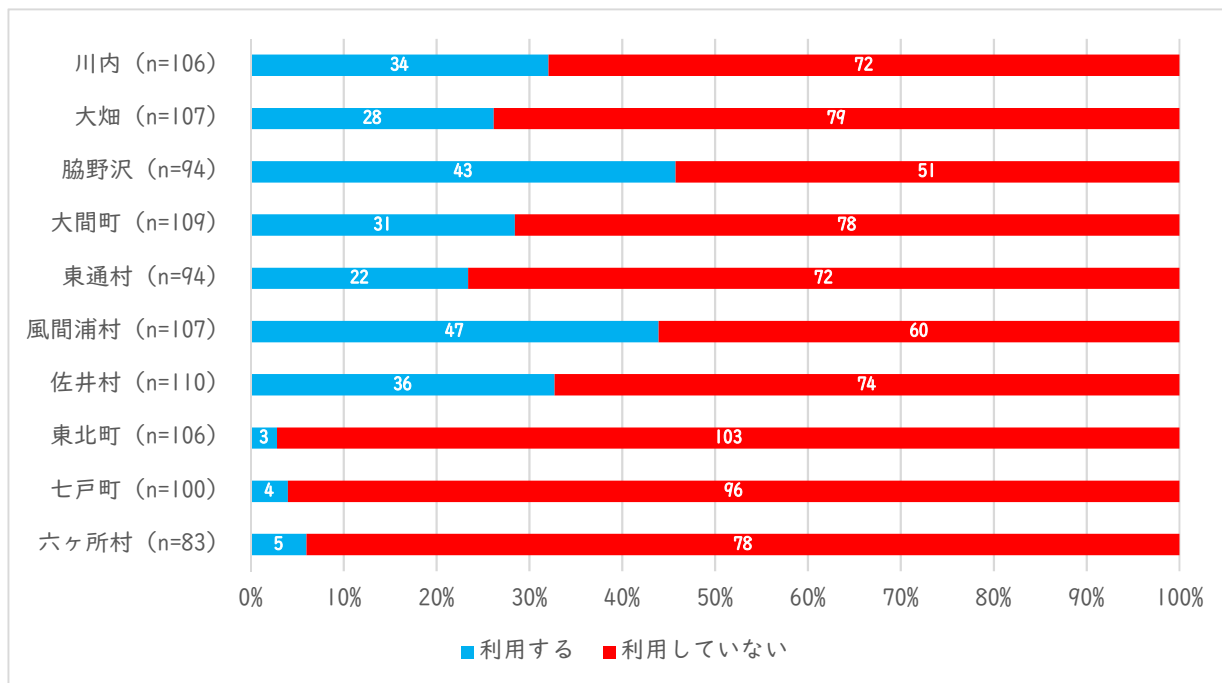
- ✓ 「大湊線について協力できること」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。
- ・むつ市(旧むつ)：積極的な鉄道の利用 38.3%、特にない 29.3%、駅や地域のイベントの企画開催 11.6%
 - ・野辺地町：特にない 42.6%、積極的な鉄道の利用 19.1%、駅や地域のイベントの企画開催 14.2%
 - ・横浜町：積極的な鉄道の利用 30.5%、特にない 30.0%、ボランティア活動 14.3%

5. 周辺自治体における調査結果

(I) 大湊線の利用状況

① 路線利用の有無

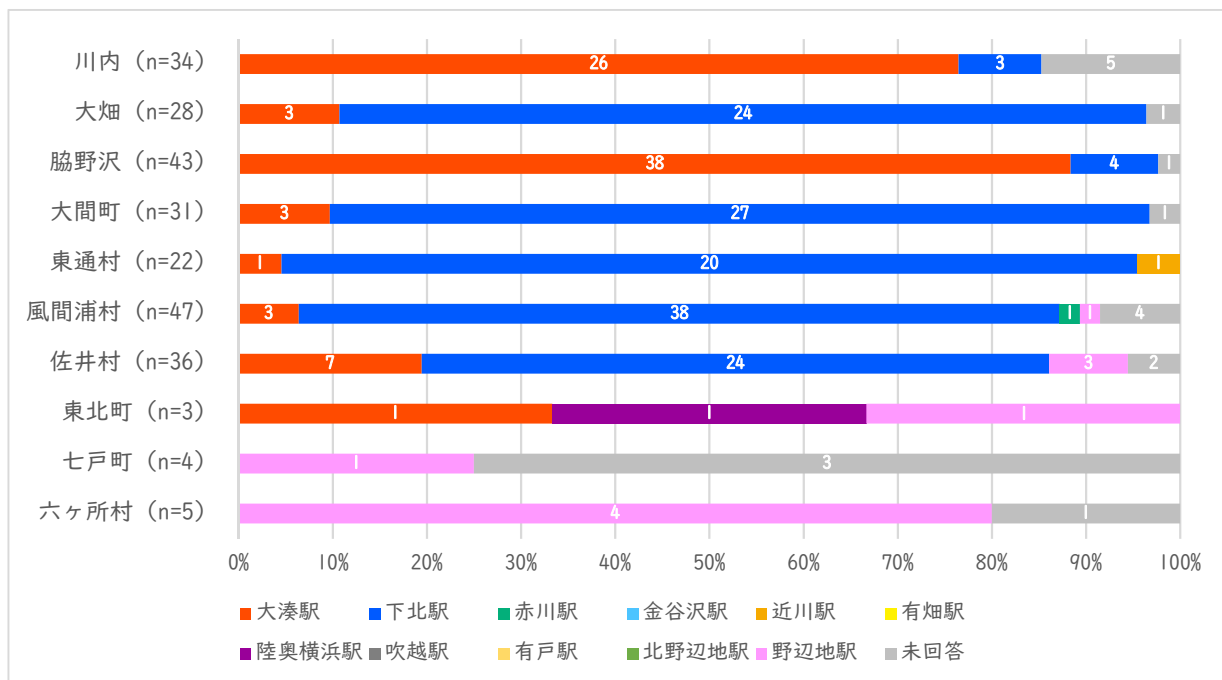
※グラフ内数値=回答件数



- ✓ 「利用する」計 253 件 (24.9%)、「利用していない」計 763 件 (75.1%) 計 1,016 件
- ✓ 大湊線を「利用する」と回答した周辺自治体のうち、95%以上が下北地域となった。

② 主な乗車駅

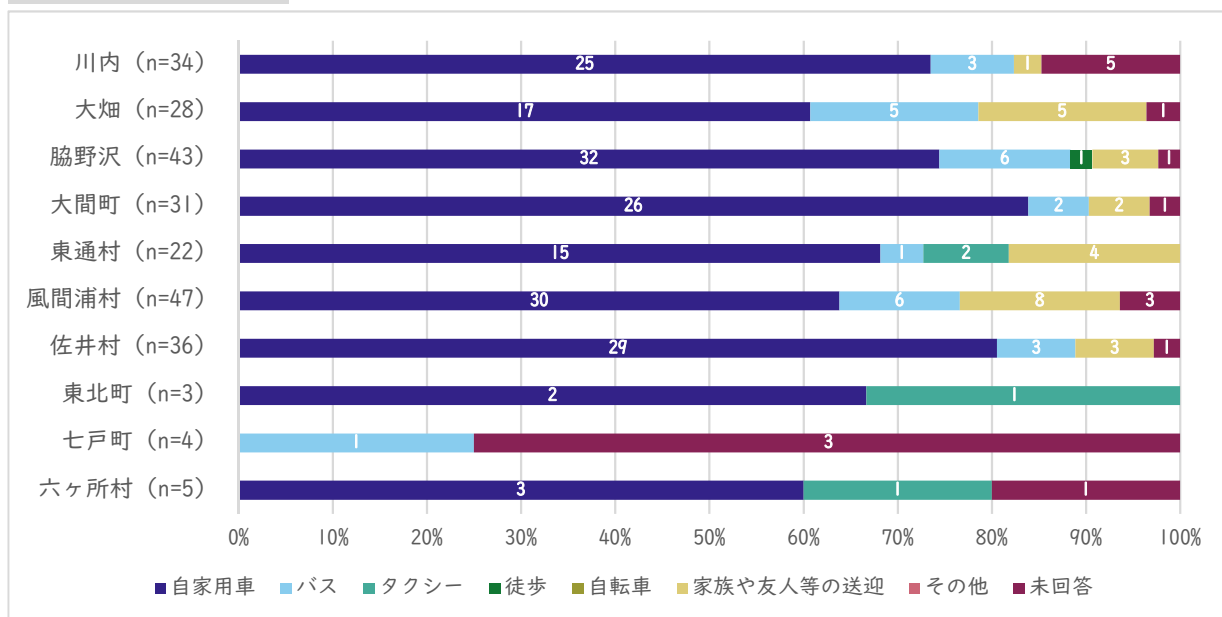
※グラフ内数値=回答件数



- ✓ 大湊線を利用する場合における「主な乗車駅」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。
 - ・ 下北地域：下北駅 58.1%、大湊駅 33.2%、野辺地駅 1.7%
 - ・ 上北地域：野辺地駅 50%、陸奥横浜駅 8.3%、大湊駅 8.3%

③ 駅までの移動手段

※グラフ内数値＝回答件数

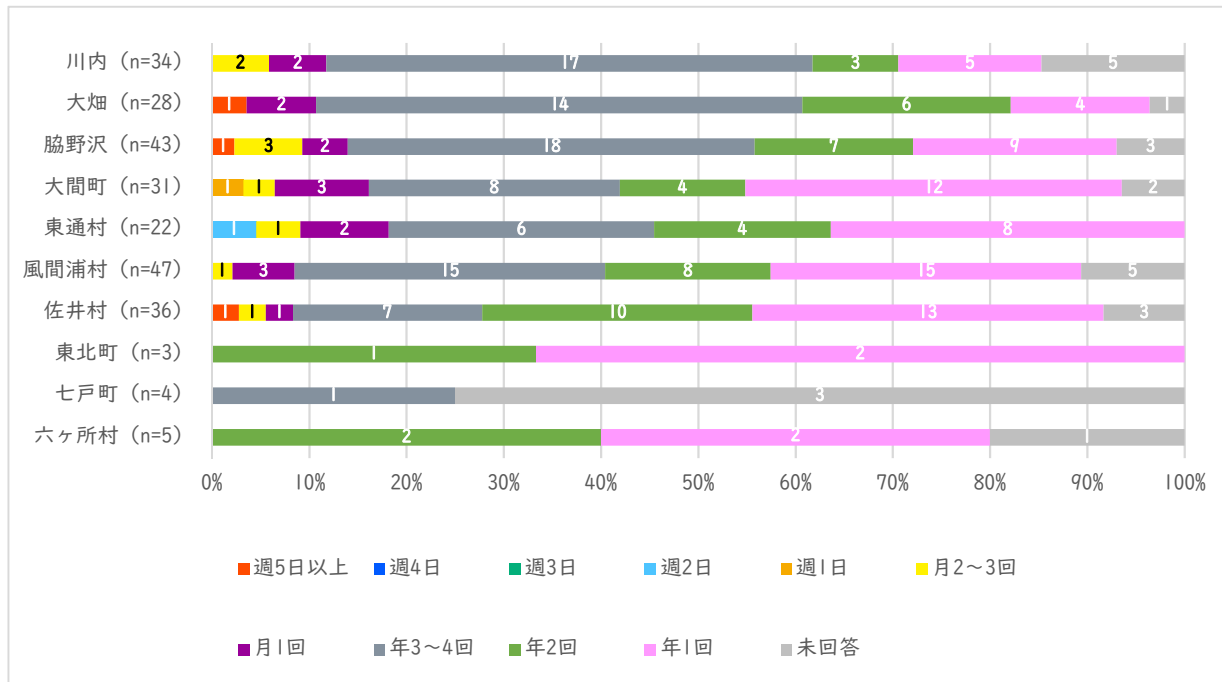


✓ 大湊線を利用する場合における「駅までの移動手段」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。

- ・下北地域：自家用車 72.2%、バス 10.8%、家族・友人等の送迎 10.8%
- ・上北地域：自家用車 41.7%、タクシー 16.7%、バス 8.3%

④ 利用頻度

※グラフ内数値＝回答件数



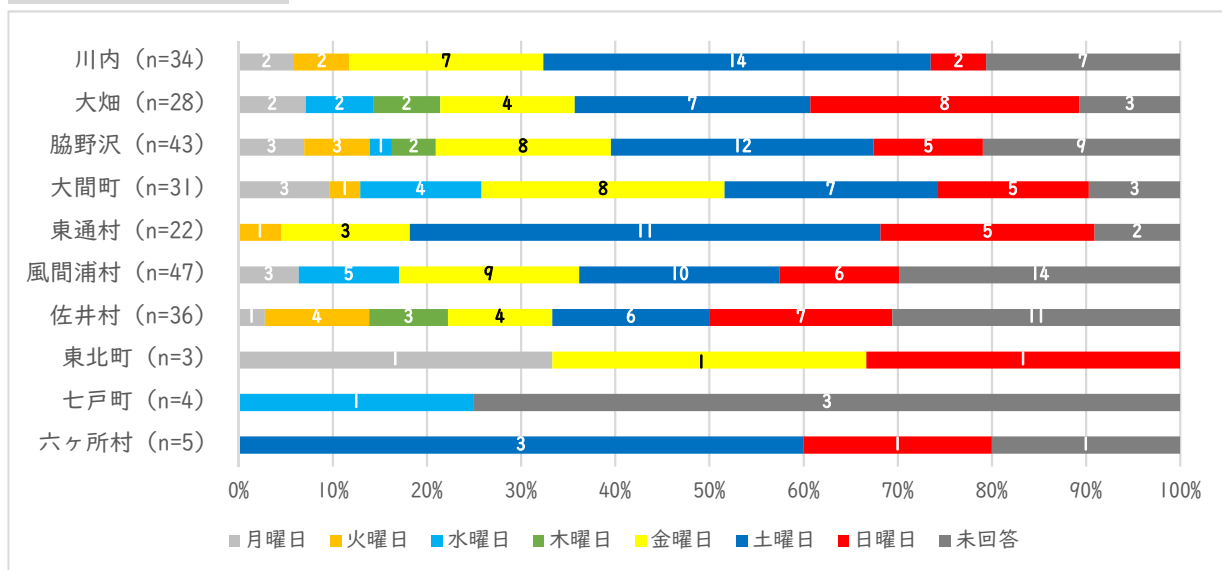
✓ 大湊線を利用する場合における「利用頻度」の回答の割合については、以下のとおりとなった。

下北地域：週1回以上の利用 2.1%、月1回以上の利用 10.0%、年1回以上の利用 80.1%

上北地域：年1回以上の利用 66.7%のみ

⑤ よく利用する曜日

※グラフ内数値＝回答件数

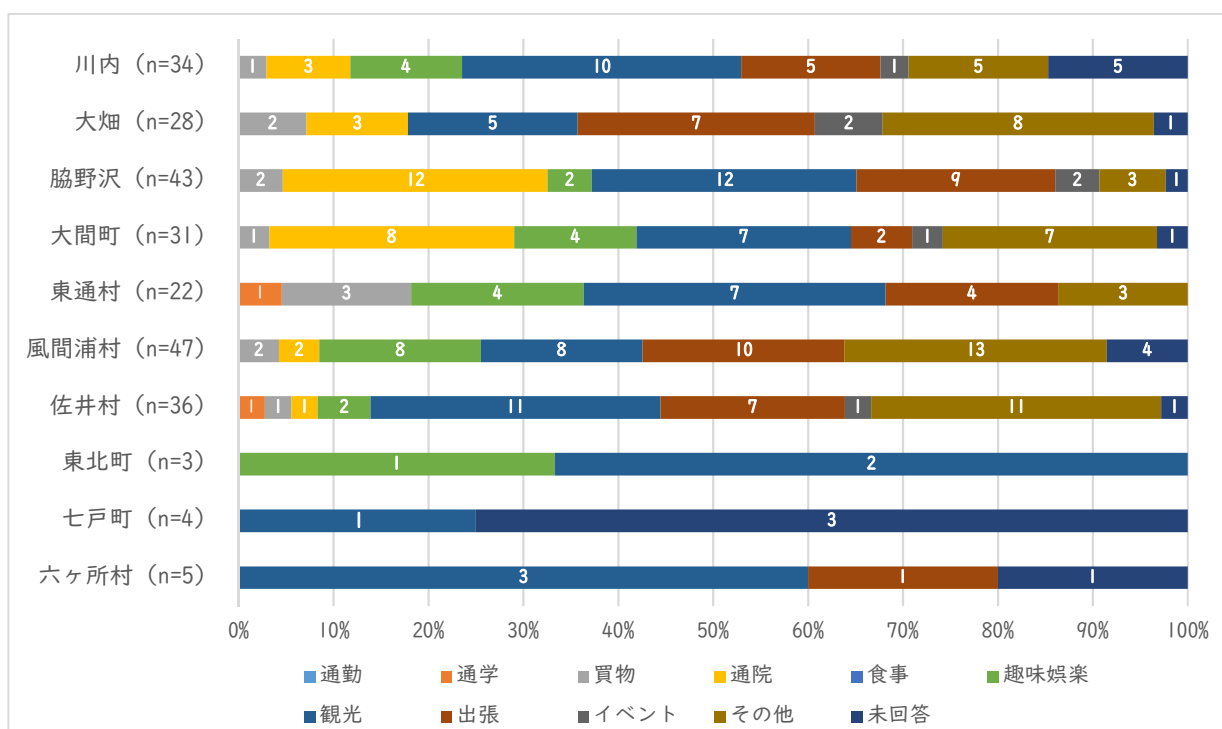


✓ 大湊線を利用する場合における「よく利用する曜日」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。

- ・下北地域：土曜日 27.8%、金曜日 17.8%、日曜日 15.8%
- ・上北地域：土曜日 25.0%、日曜日 16.7%、月・水・金曜日 8.3%

⑥ 主な利用目的

※グラフ内数値＝回答件数



✓ 大湊線を利用する場合における「主な利用目的」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。※その他を除く

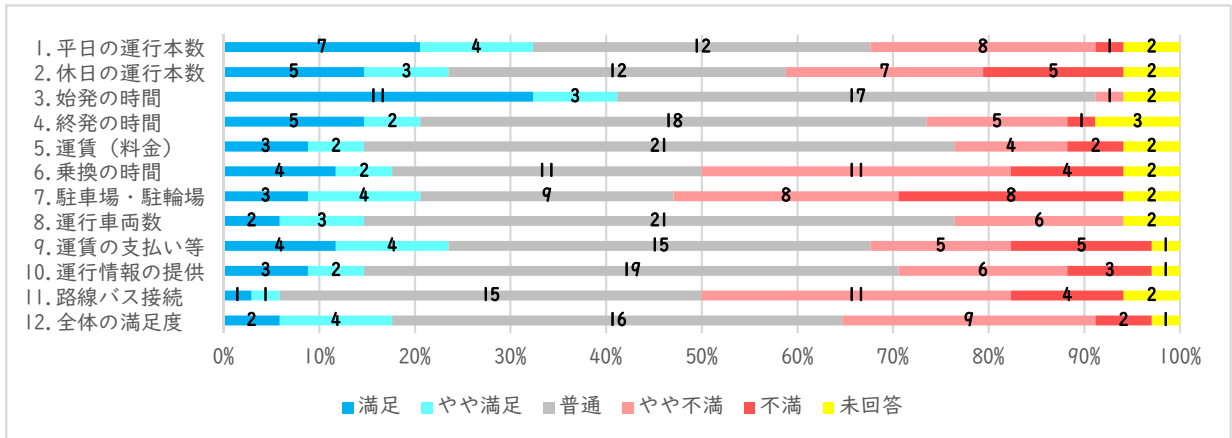
- ・下北地域：観光 24.9%、その他 20.7%、出張 18.3%
- ・上北地域：観光 50.0%、趣味娯楽・出張 8.3%

※その他：帰省・訪問（遠方の家族に会う）が9割程度、他は冠婚葬祭等

(2) 大湊線の満足度

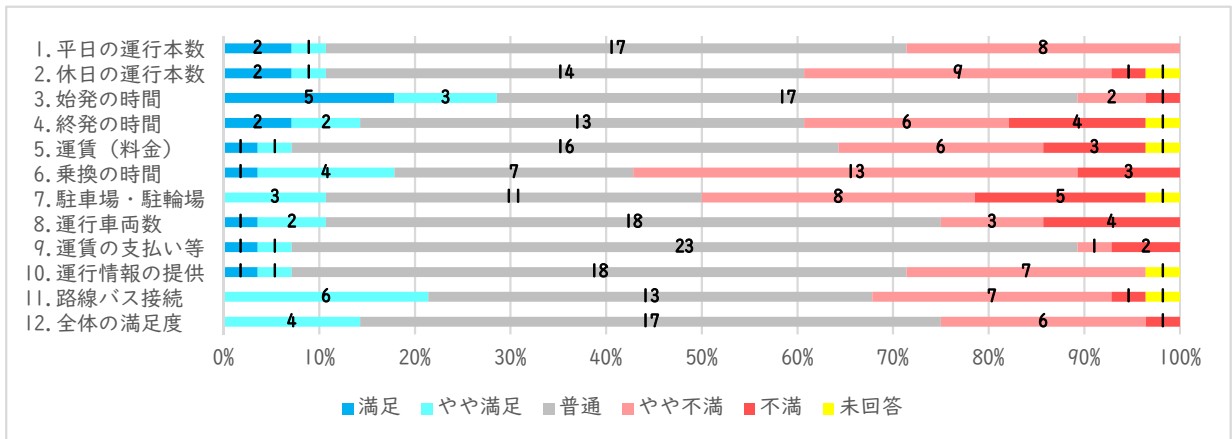
① 川内 n=34

※グラフ内数値=回答件数



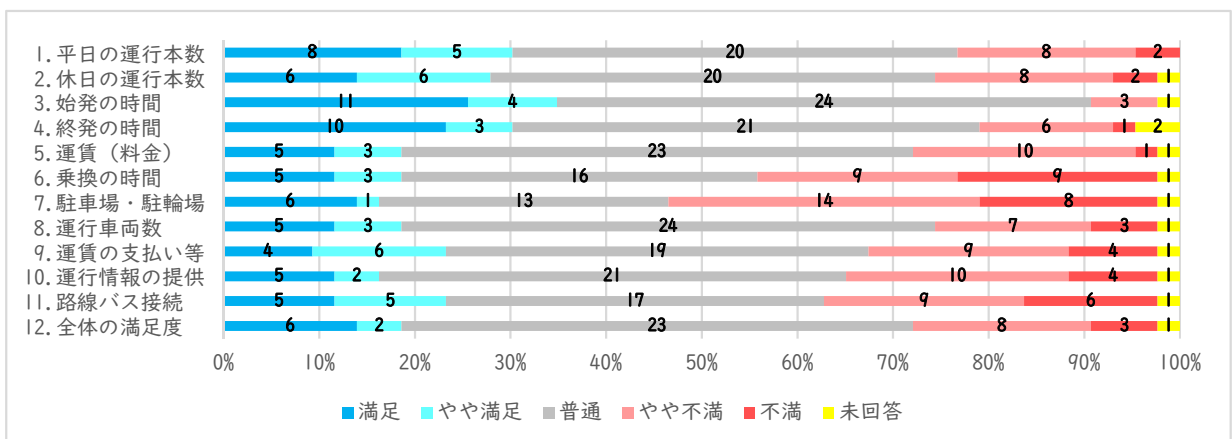
② 大畑 n=28

※グラフ内数値=回答件数



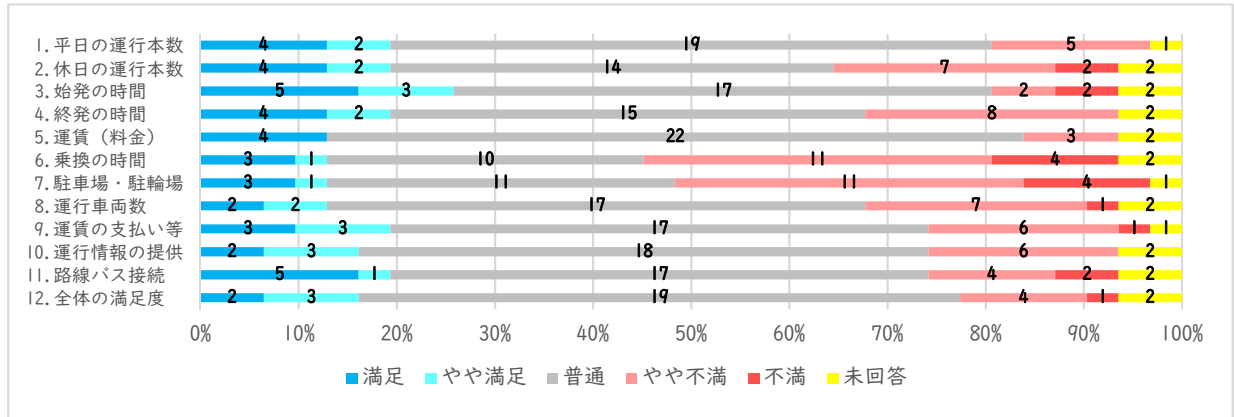
③ 脇野沢 n=43

※グラフ内数値=回答件数



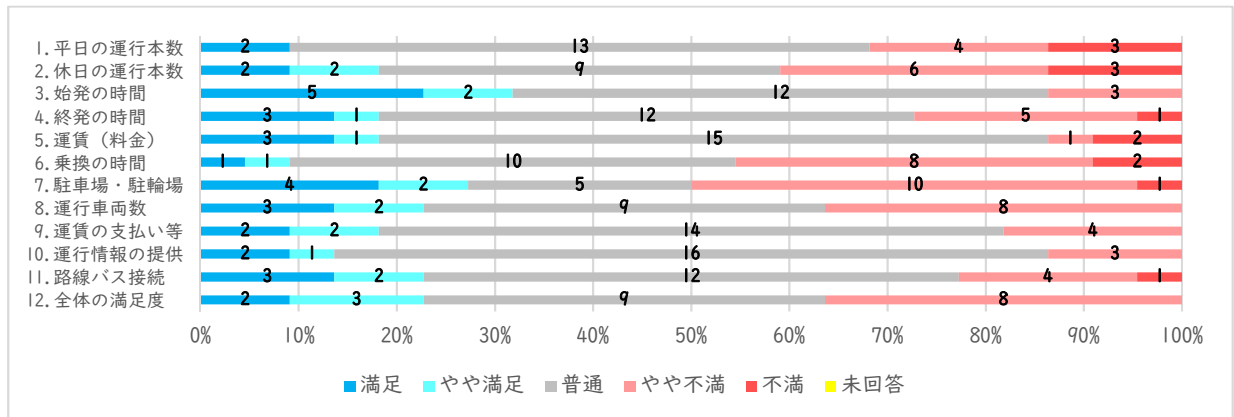
④ 大間町 n=31

※グラフ内数値=回答件数



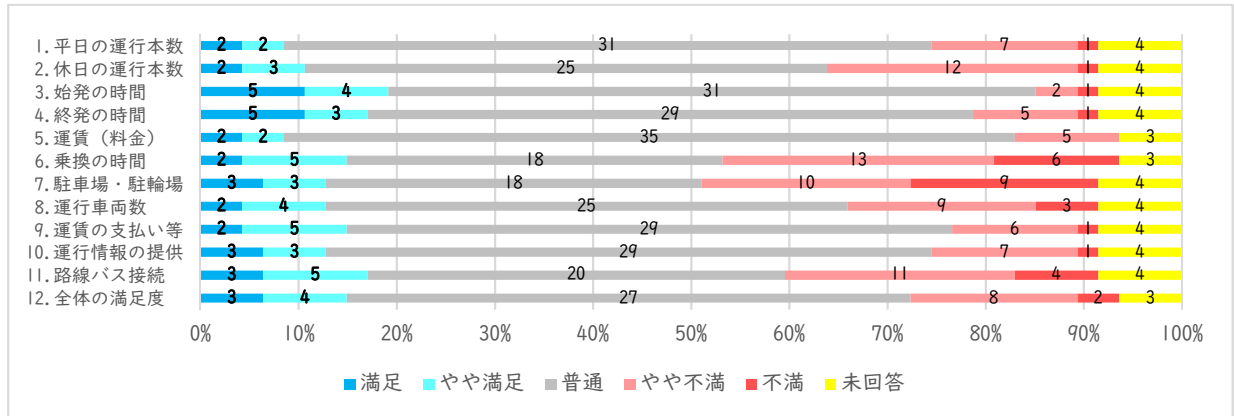
⑤ 東通村 n=22

※グラフ内数値=回答件数



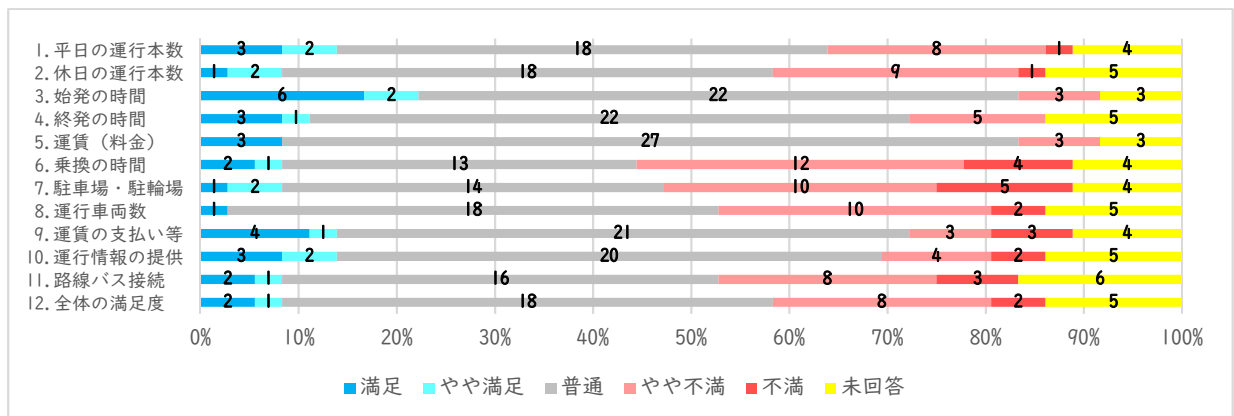
⑥ 風間浦村 n=47

※グラフ内数値=回答件数



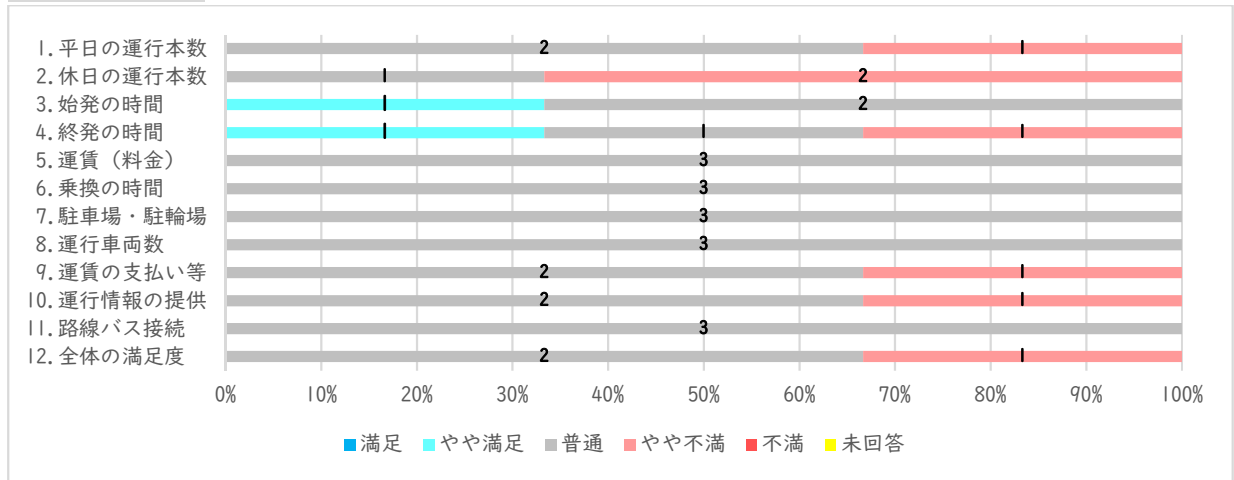
⑦ 佐井村 n=36

※グラフ内数値=回答件数



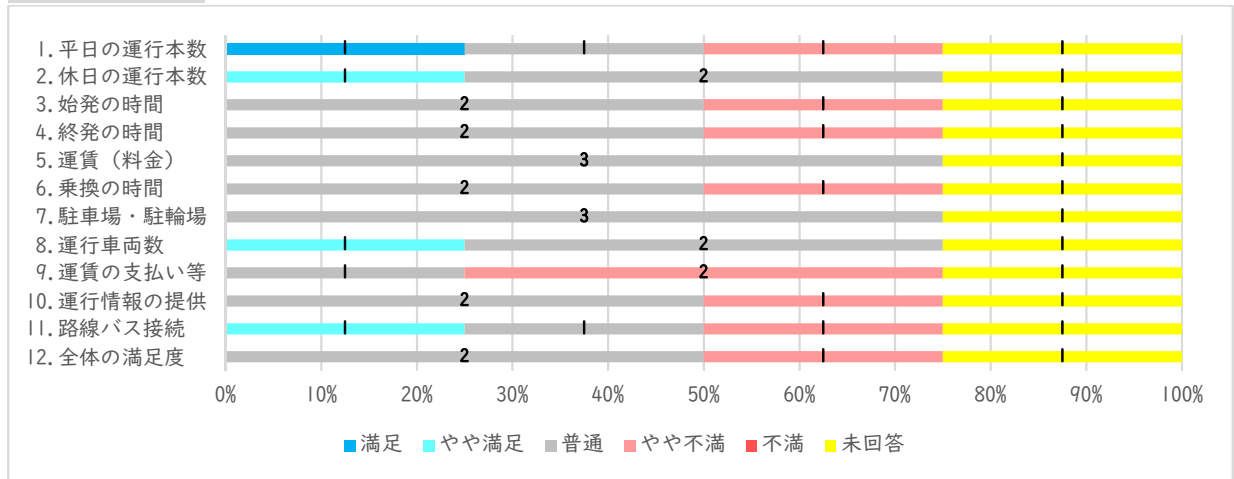
⑧ 東北町 n=3

※グラフ内数値=回答件数



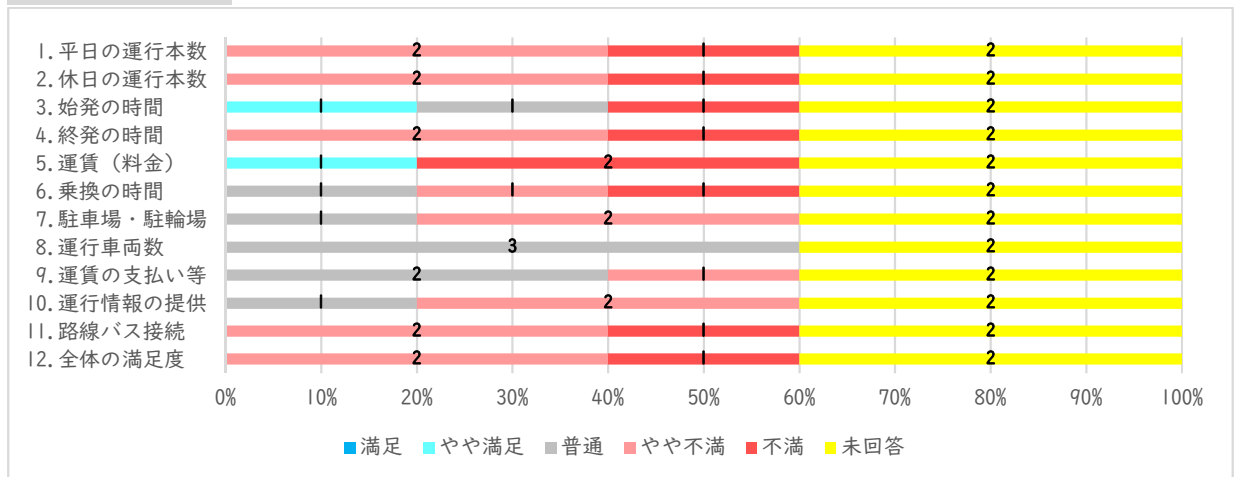
⑨ 七戸町 n=4

※グラフ内数値=回答件数



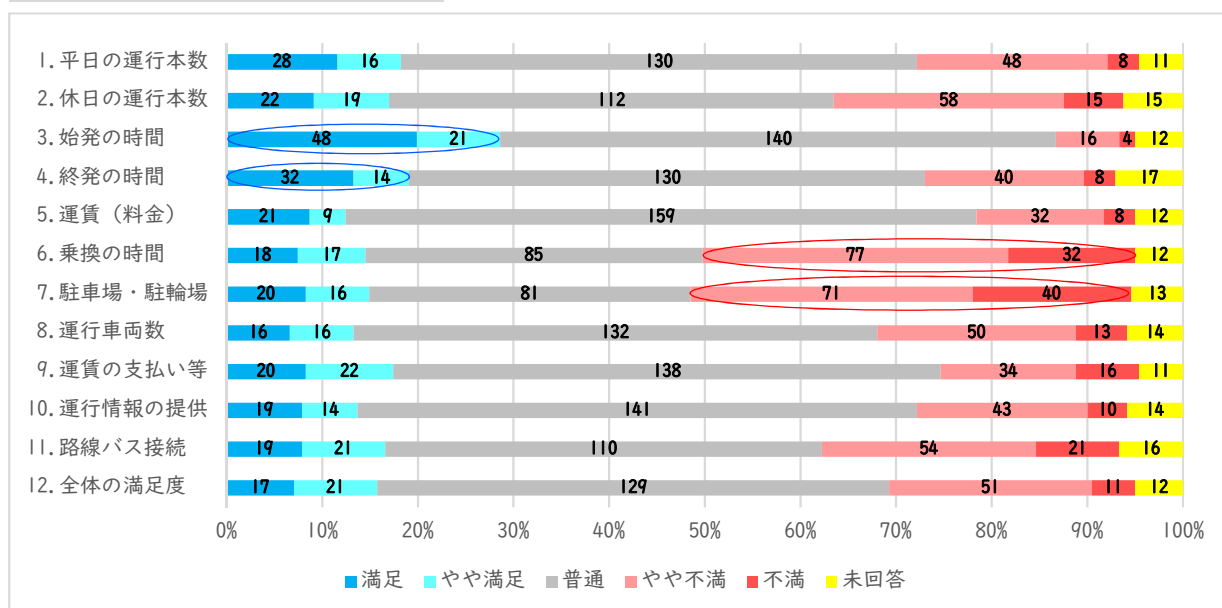
⑩ 六ヶ所村 n=5

※グラフ内数値=回答件数



⑪ 下北地域 (①～⑦合計) n=241

※グラフ内数値=回答件数

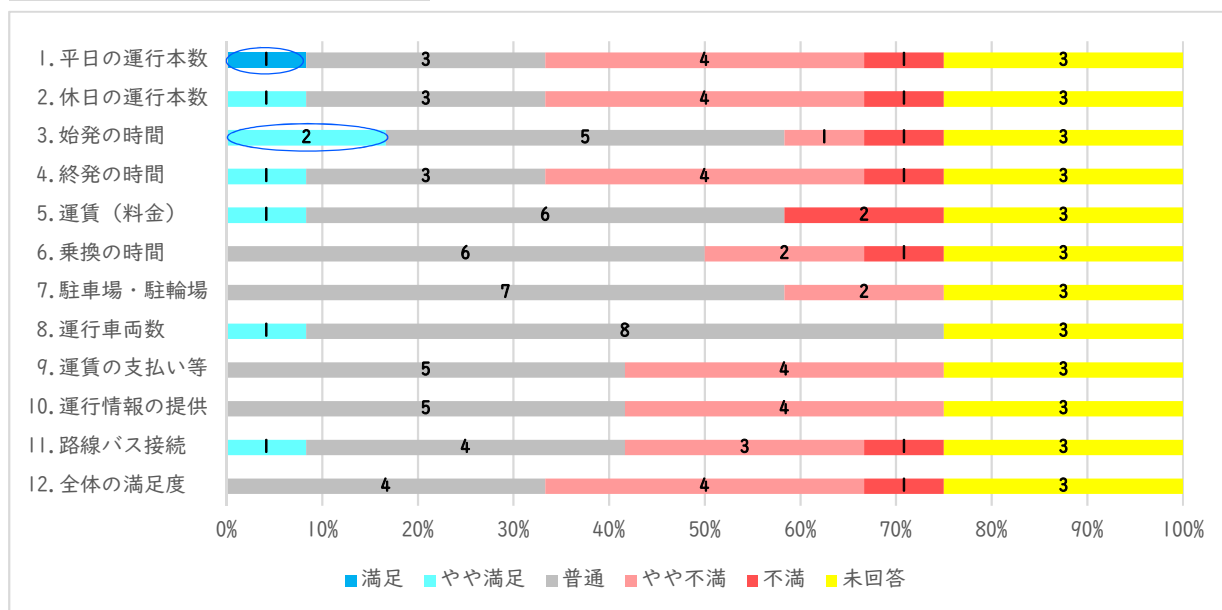


✓ 満足・やや満足については、3. 始発の時間 28.6%、4. 始発の時間 19.1%が高い結果となった。

✓ 不満・やや不満については、7. 駐車場・駐輪場 46.1%、6. 乗換の時間 45.2%が高い結果となった。

⑫ 上北地域 (⑧～⑩合計) n=12

※グラフ内数値=回答件数



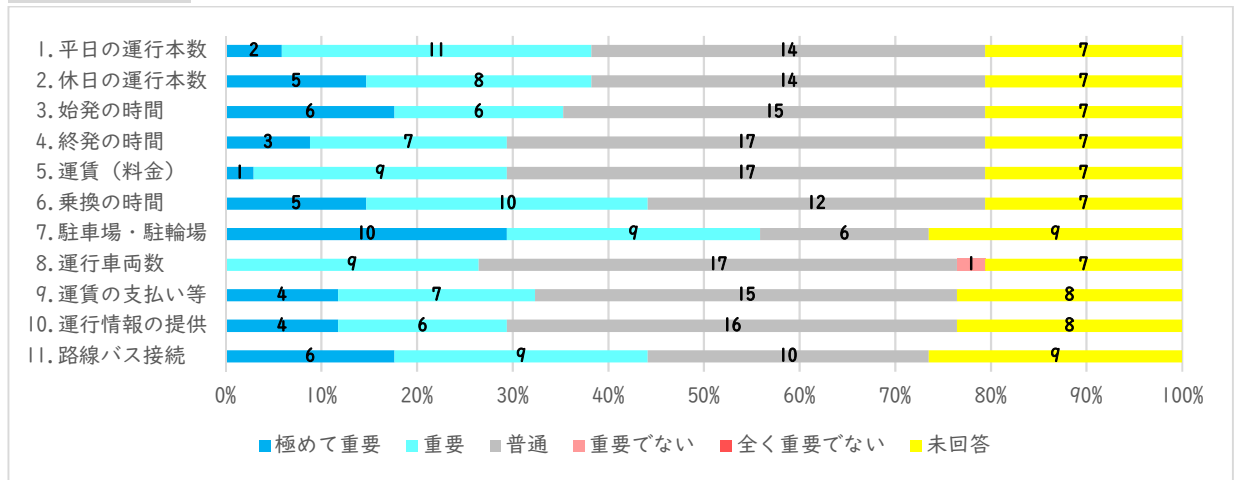
✓ 満足・やや満足については、3. 始発の時間 16.7%、1. 平日の運行本数 8.33%が高い結果となった。

✓ 不満・やや不満については、1. 平日の運行本数、2. 休日の運行本数、4. 終発の時間、12. 全体の満足度 41.7%が高い結果となった。

(3) 大湊線の重要度

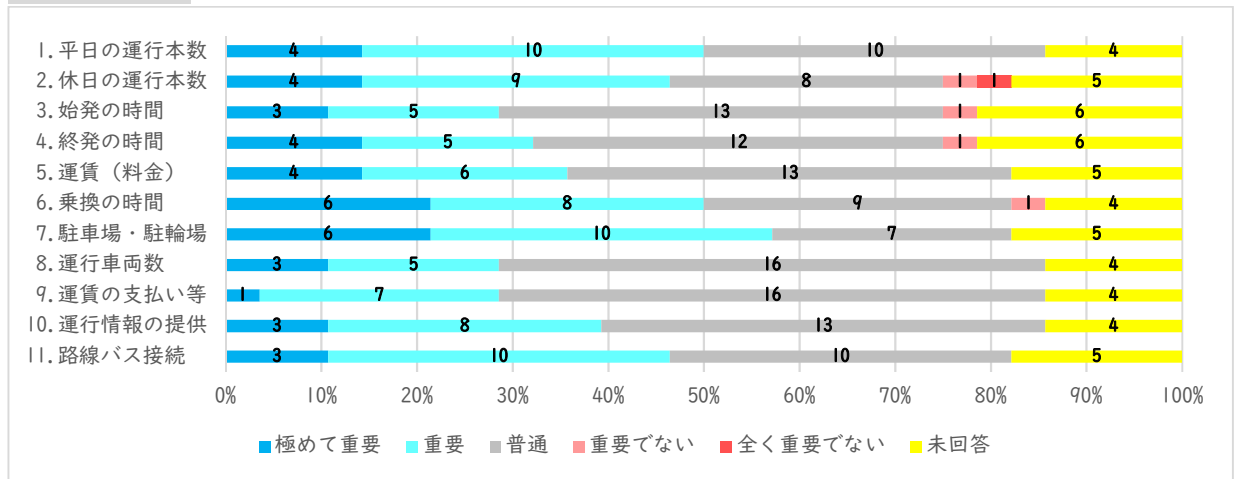
① 川内 n=34

※グラフ内数値=回答件数



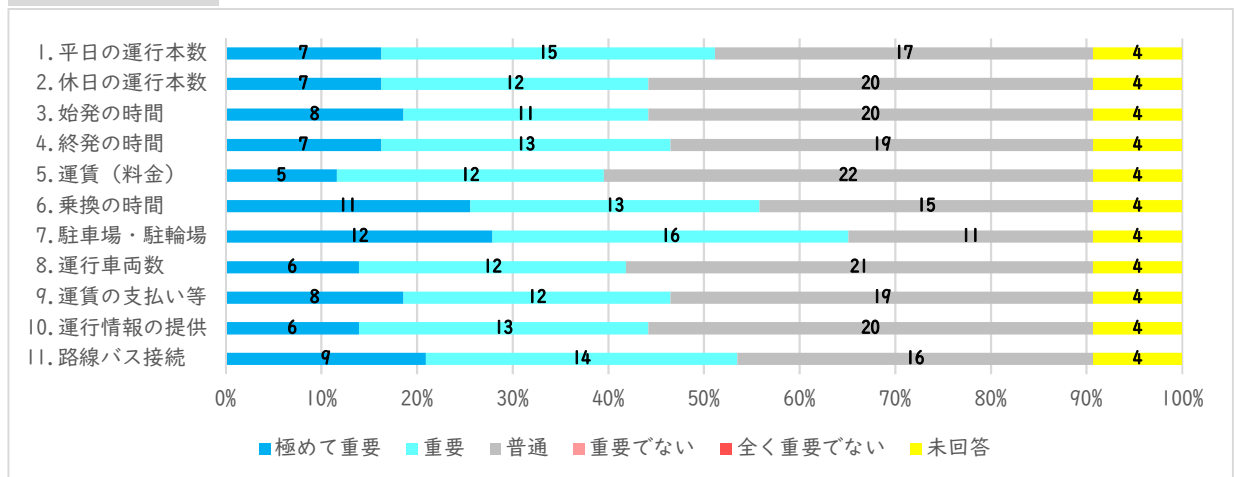
② 大畑 n=28

※グラフ内数値=回答件数



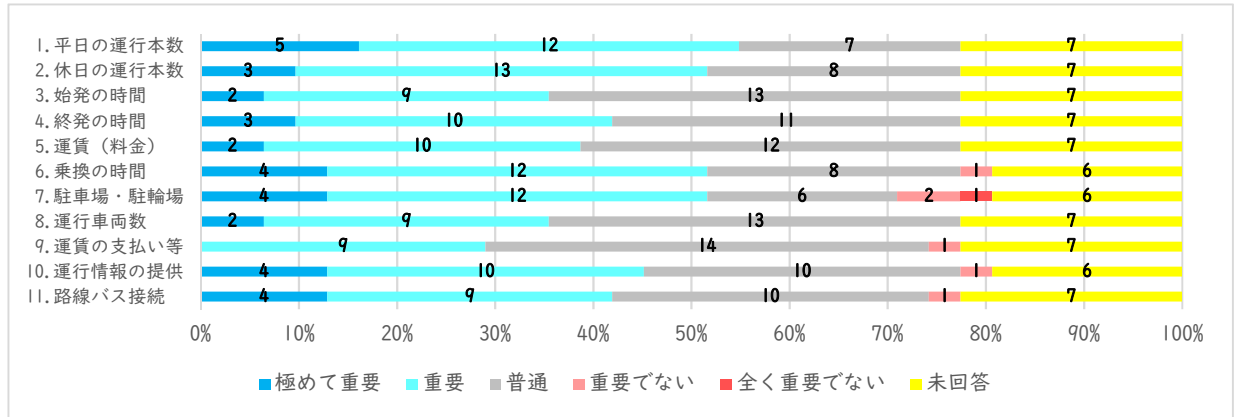
③ 脇野沢 n=43

※グラフ内数値=回答件数



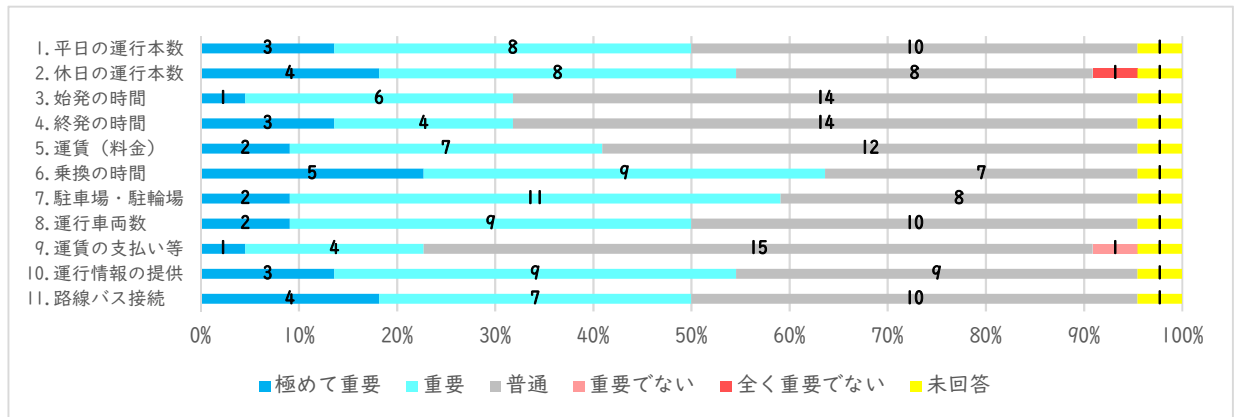
④ 大間町 n=31

※グラフ内数値=回答件数



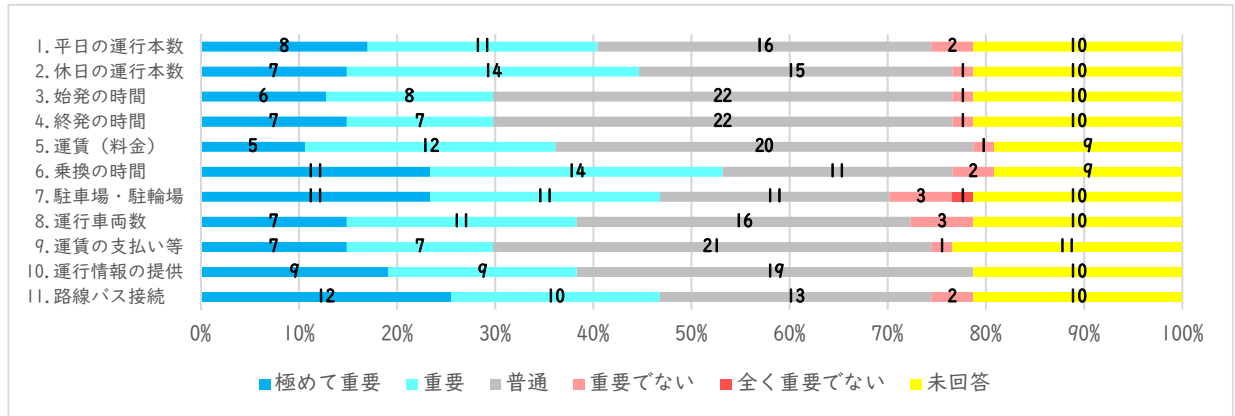
⑤ 東通村 n=22

※グラフ内数値=回答件数



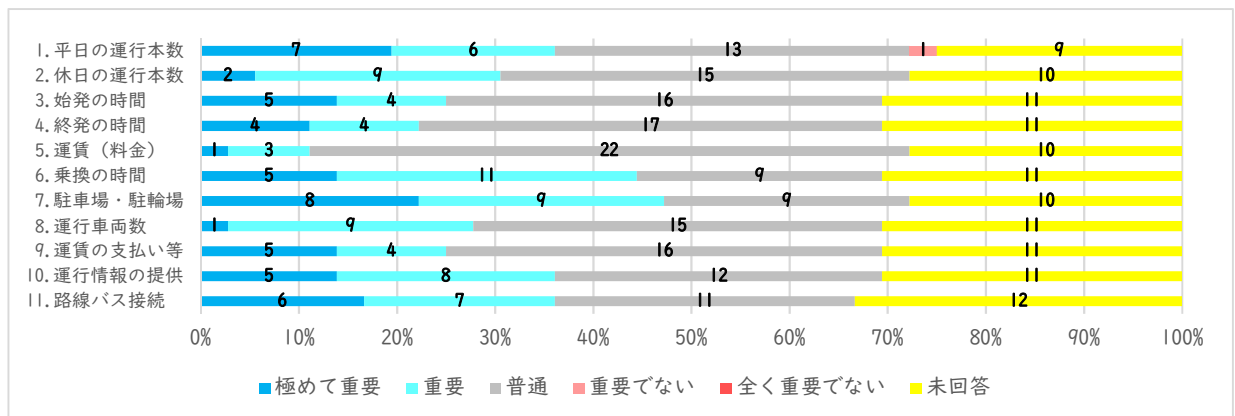
⑥ 風間浦村 n=47

※グラフ内数値=回答件数



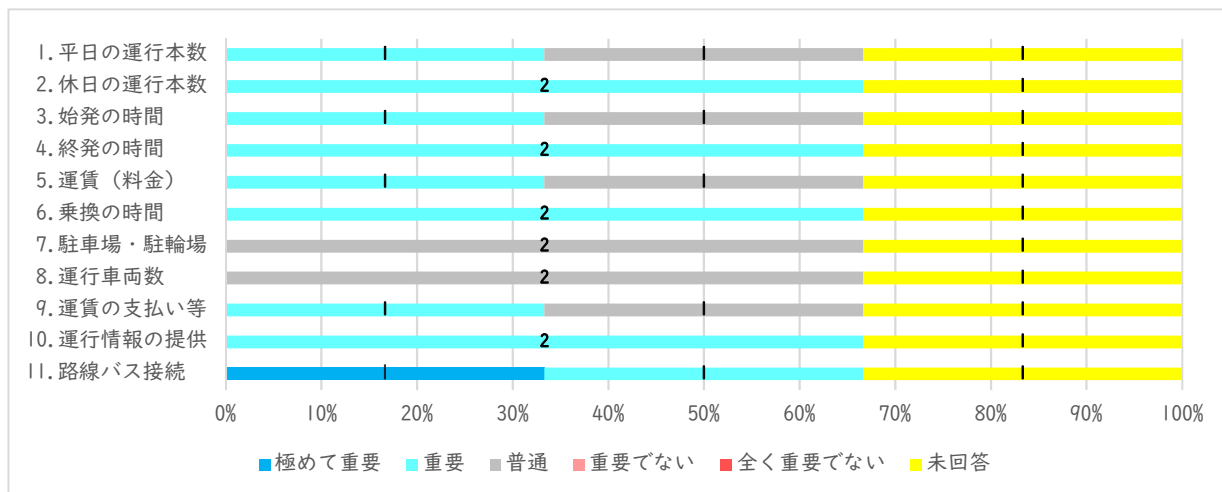
⑦ 佐井村 n=36

※グラフ内数値=回答件数



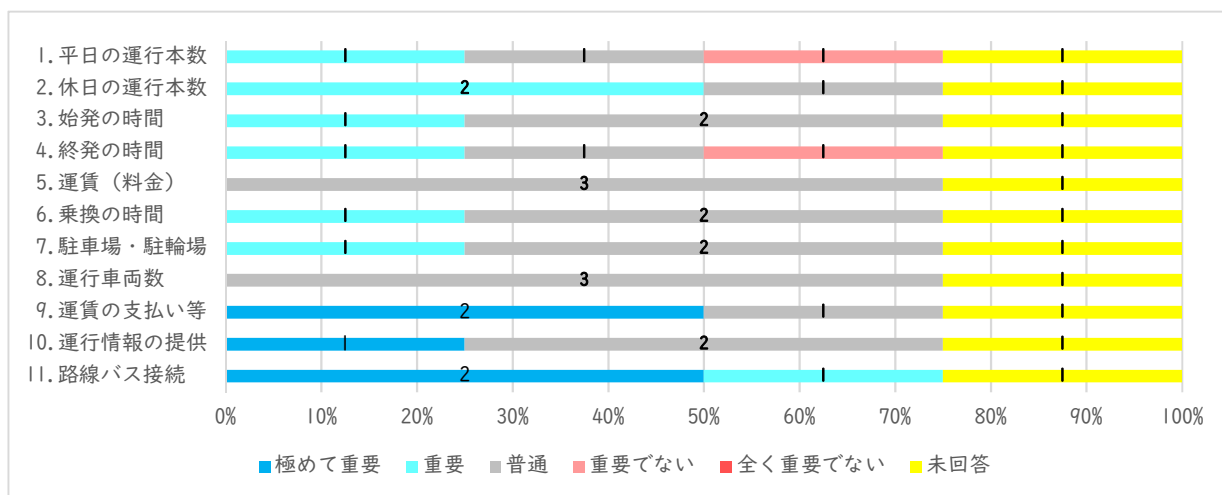
⑧ 東北町 n=3

※グラフ内数値=回答件数



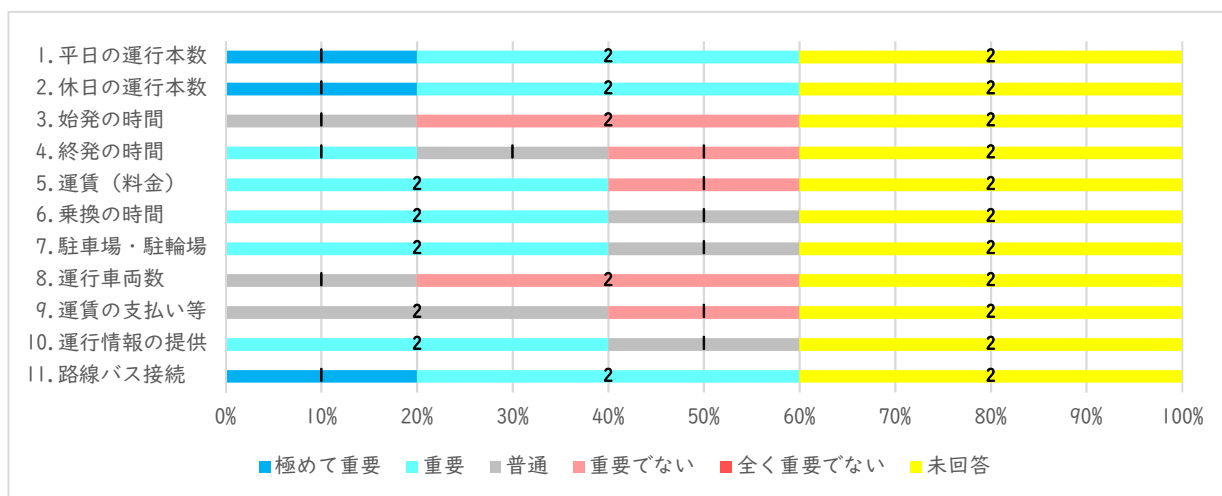
⑨ 七戸町 n=4

※グラフ内数値=回答件数



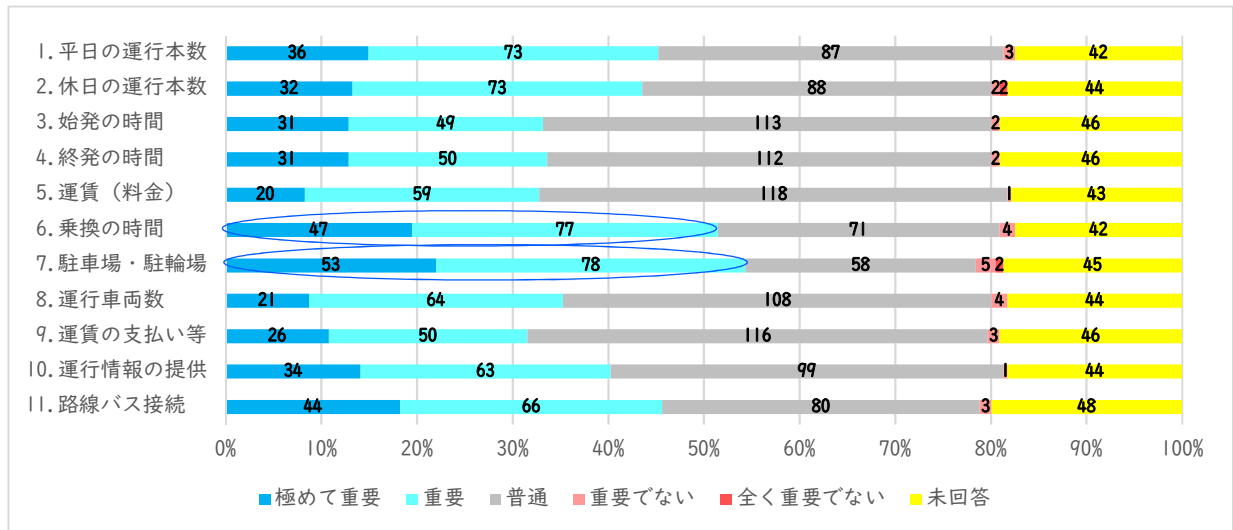
⑩ 六ヶ所村 n=5

※グラフ内数値=回答件数



⑪ 下北地域 (①～⑦合計) n=241

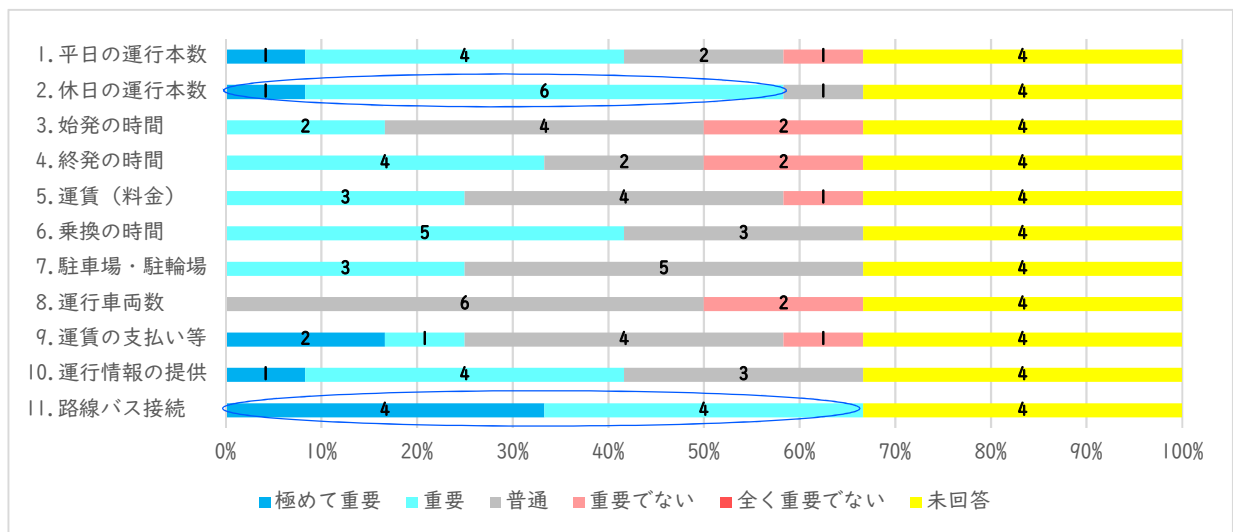
※グラフ内数値=回答件数



- ✓ 極めて重要・重要については、7. 駐車場・駐輪場 54.4%、
6. 乗換の時間 51.4%が高い結果となった。

⑫ 上北地域 (⑧～⑩合計) n=12

※グラフ内数値=回答件数



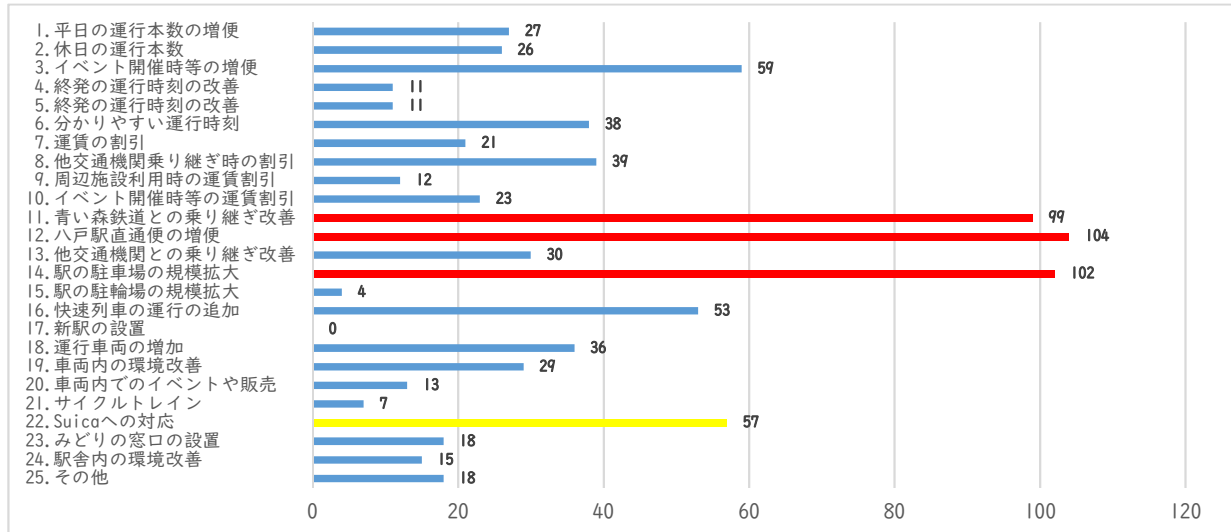
- ✓ 極めて重要・重要については、11. 路線バス接続 66.7%、
2. 休日の運行本数 58.3%が高い結果となった。

(4) 大湊線のサービス改善策について

① サービス改善策の回答（下北地域：大間町・東通村・風間浦村・佐井村・川内・大畑・脇野沢）

※複数回答可（1人5つまで）、回答総数：852件

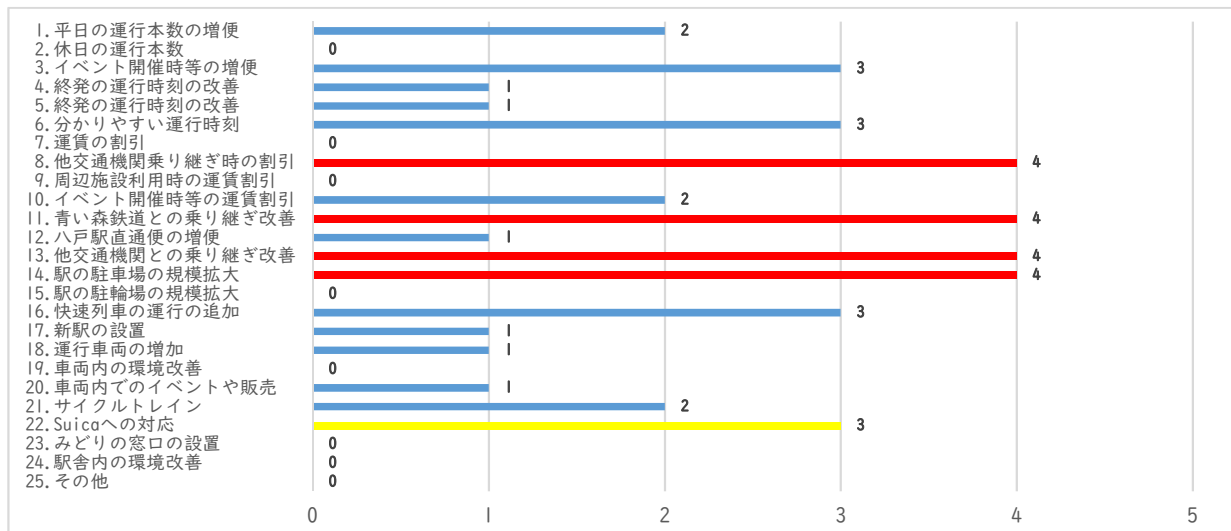
※グラフ内数値＝回答件数



② サービス改善策の回答（上北地域：東北町・七戸町・六ヶ所村）

※複数回答可（1人5つまで）、回答総数：40件

※グラフ内数値＝回答件数

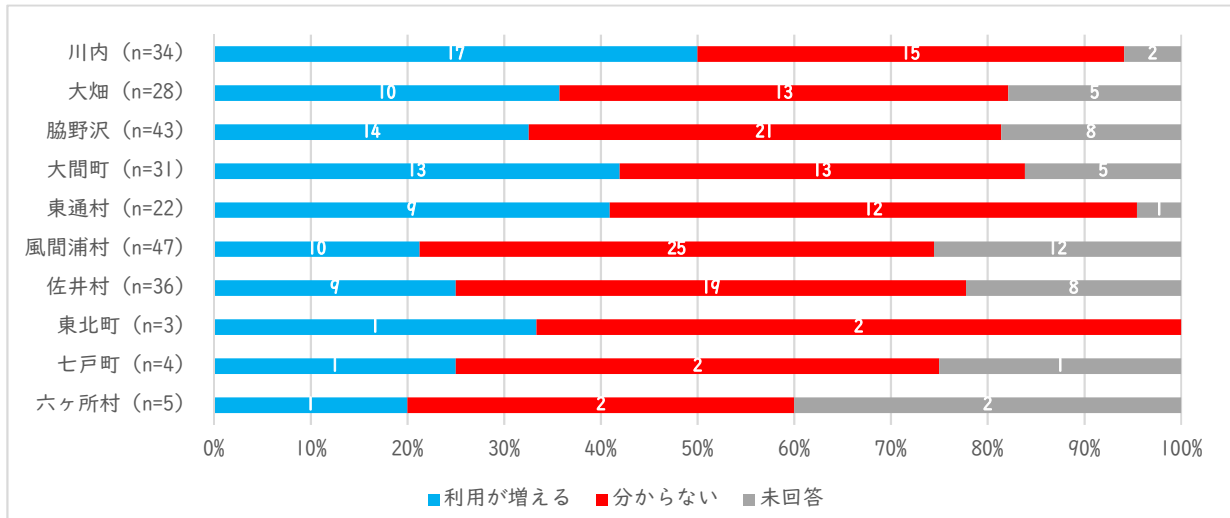


- ✓ 「大湊線のサービス改善策」について、下北地域及び上北地域の上位3位は上表の赤線グラフのとおりとなるが、「12. 八戸駅直通便の増便」、「11. 青い森鉄道との乗り継ぎ改善」といった増便や乗り継ぎ改善に関する項目が圧倒的に多く、また、「14. 駅の駐車場の規模拡大」も準じて多い回答となった。
- ✓ また、「22. Suicaへの対応」も他の項目に比べて高い回答数となった。

③ サービスの向上（改善）によって、大湊線の利用回数は増えるか

※(4)-①、②大湊線サービス改善策についての回答者のみを対象

※グラフ内数値＝回答件数

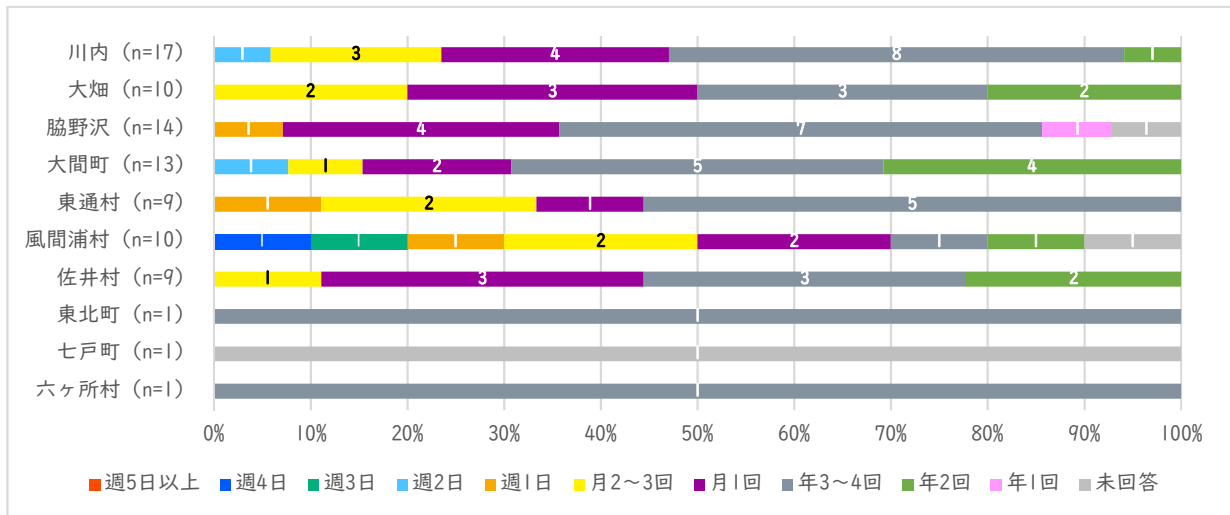


✓ サービスの向上（改善）によって、大湊線の利用は全体で33.6%が増えるといった回答となった。

④ 大湊線の利用頻度はどの程度増えるか

※③において、「利用が増える」を回答した方を対象

※グラフ内数値＝回答件数



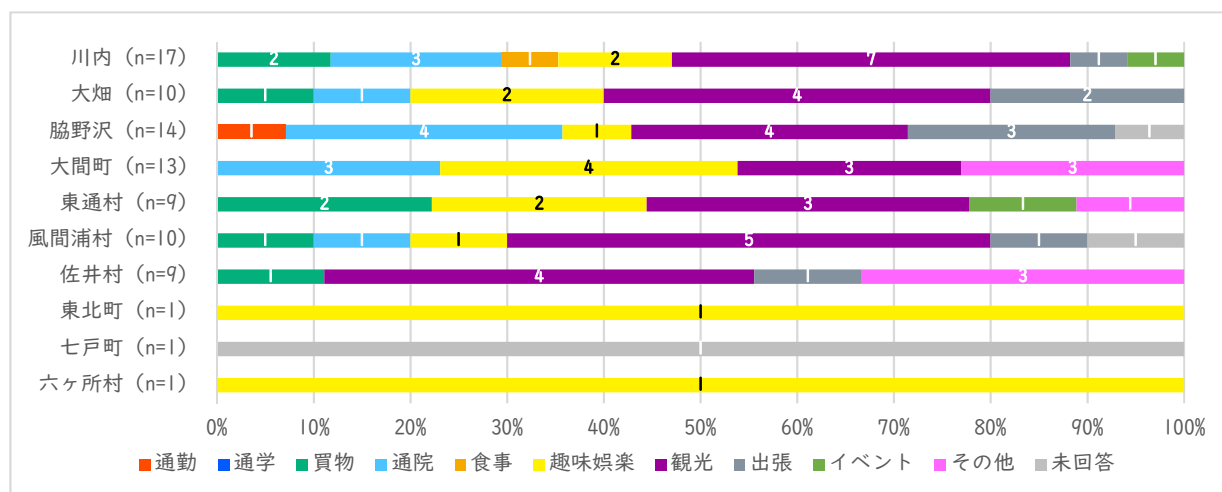
✓ ③において、「利用が増える」を回答した者のうち、「大湊線の利用頻度がどの程度増えるか」に回答した者の割合については、以下のとおりとなった。

- ・下北地域：週1回以上の利用 8.5%、月1回以上の利用 36.6%、年1回以上の利用 52.4%
- ・上北地域：年1回以上の利用 66.7%と未回答のみ

⑤ 大湊線の利用目的は増えるか

※③において、「利用が増える」を回答した者を対象

※グラフ内数値＝回答件数



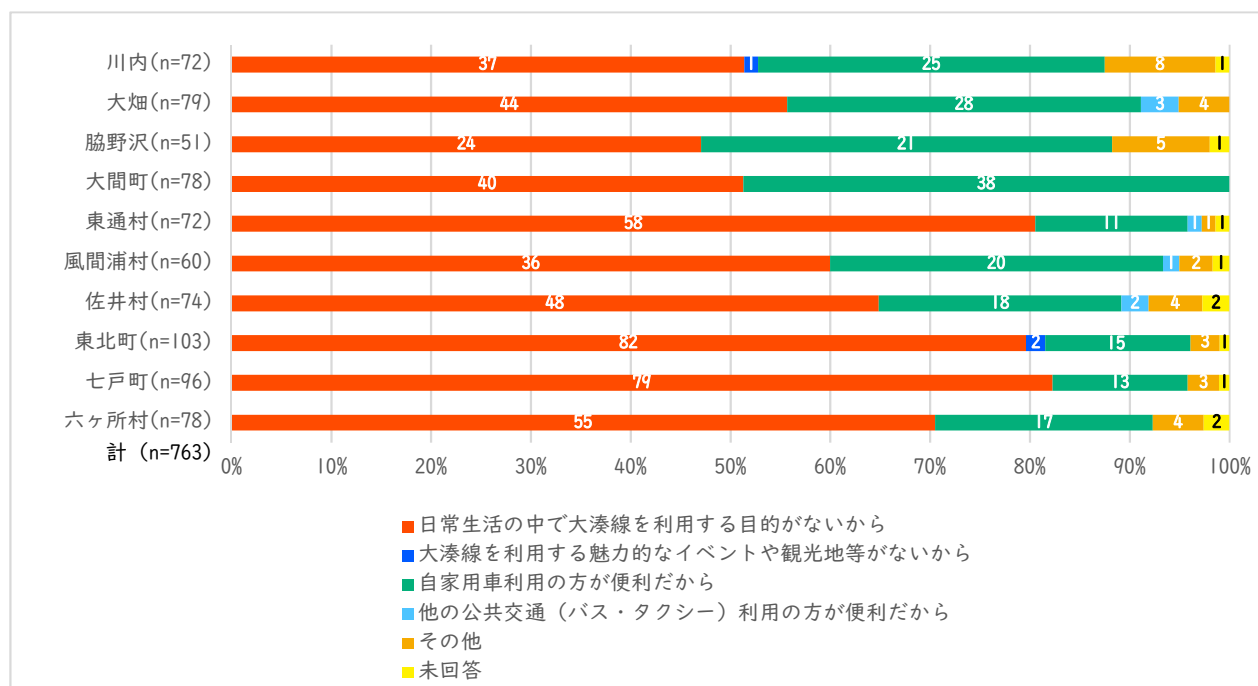
✓ ③において、「利用が増える」を回答した者のうち、「大湊線の利用目的は増えるか」に回答した者の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。

- ・下北地域：観光 36.6%、通院・趣味娯楽 14.6%、出張 9.8%
- ・上北地域：趣味娯楽・観光 33.3%と未回答のみ

(5) 大湊線を利用していない理由

※(1)大湊線の利用状況、①利用の有無で全く利用していない方を対象

※グラフ内数値＝回答件数



✓ 「大湊線を利用していない理由」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。

※その他を除く

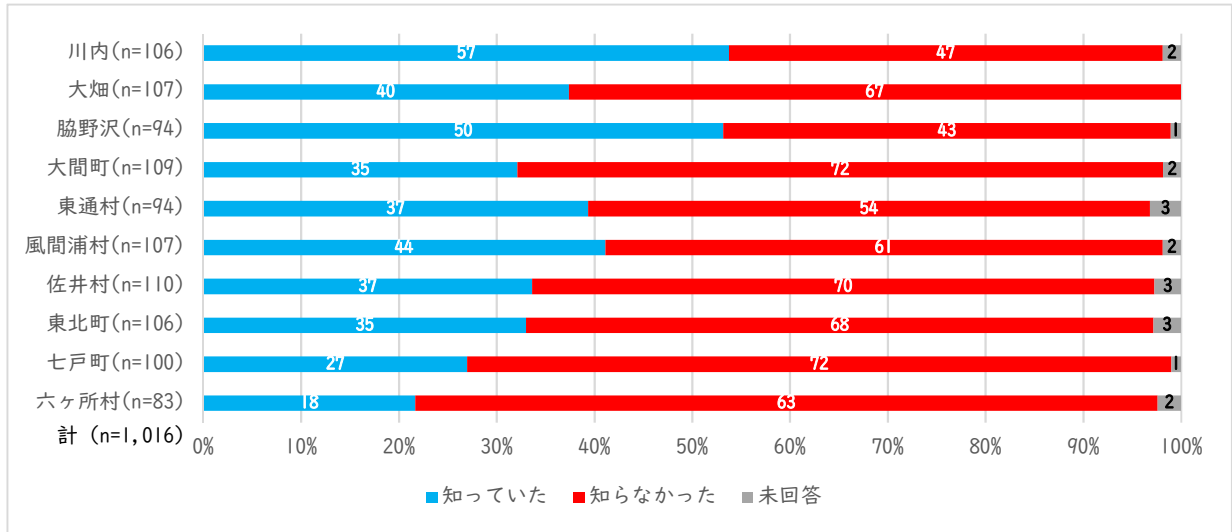
- ・ 下北地域：日常生活の中で大湊線を利用する目的がないから 59.1%
- 自家用車利用の方が便利だから 33.1%
- 他の公共交通（バス・タクシー）利用の方が便利だから 1.4%
- ・ 上北地域：日常生活の中で大湊線を利用する目的がないから 78.0%
- 自家用車利用の方が便利だから 16.2%
- 大湊線を利用する魅力的なイベントや観光地等がないから 0.7%

(6) 大湊線に対する考えについて

① 大湊線の平均通過人員について

※2019 年度 533 人/日

※グラフ内数値=回答件数

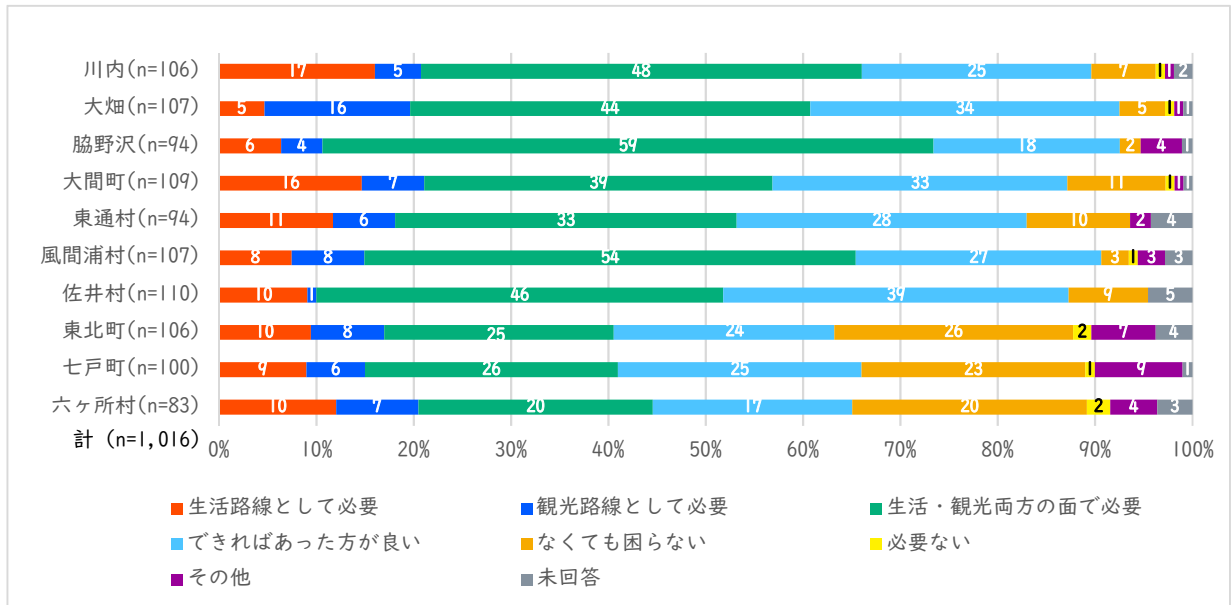


- ✓ JR 東日本が公表した平均通過人員 2,000 人/日未満の利用の少ない線区に、大湊線が対象となっていることを知っている人は、以下のとおりとなった。

- ・下北地域：約 40%
- ・上北地域：約 30%

② 大湊線についてどのように考えているか

※グラフ内数値=回答件数

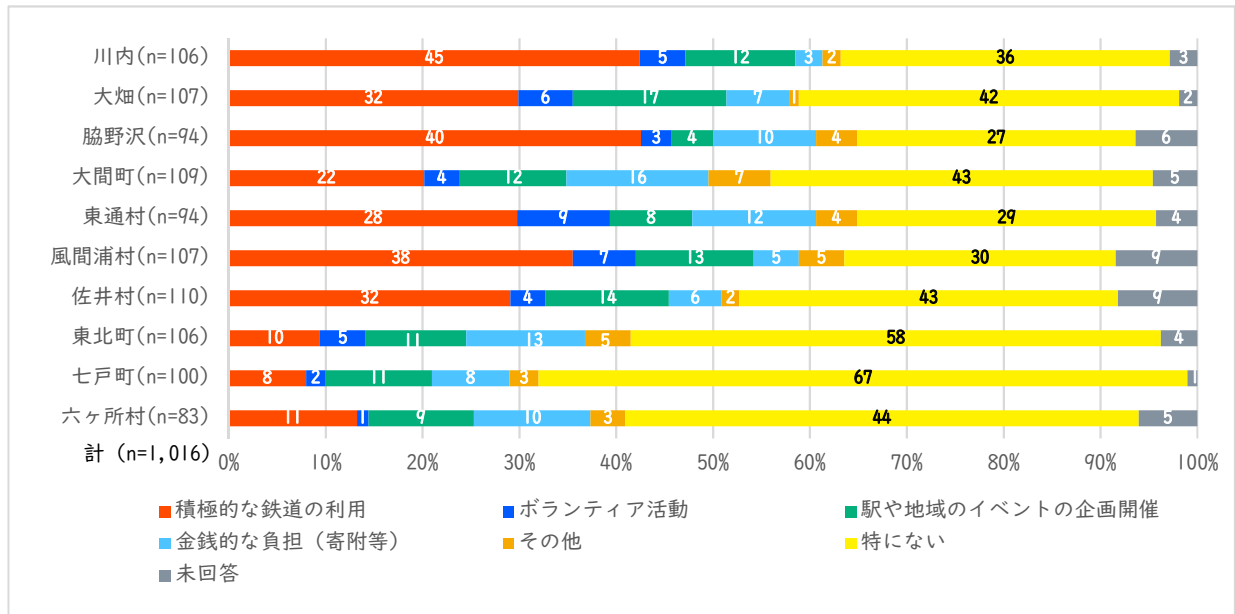


- ✓ 「大湊線についてどのように考えているか」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。

- ・下北地域：生活・観光両方の面で必要 44.4%、できればあった方がよい 28.1%、生活路線として必要 10.0%
- ・上北地域：生活・観光両方の面で必要 24.6%、なくても困らない 23.9%、できればあった方がよい 22.8%

③ 大湊線について協力できること

※グラフ内数値＝回答件数



- ✓ 「大湊線について協力できること」の回答の割合（上位3位）については、以下のとおりとなった。
- ・ 下北地域：特にない 34.4%、積極的な鉄道の利用 32.6%
駅や地域のイベントの企画開催 11.0%
 - ・ 上北地域：特にない 58.5%、駅や地域のイベントの企画開催 10.7%
金銭的な負担 10.7%

JR大湊線に関するアンケート調査票

JR大湊線は、下北・上北圏域において、通学・通院・買物・観光などの地域経済や生活環境を支える公共交通機関として重要な役割を担っている路線であります。

JR大湊線活性化協議会では、JR大湊線がこれまで以上に地域の皆様に愛され、地域内外のたくさんの方に利用していただける路線となるよう、利用促進に向けたアンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年12月 JR大湊線活性化協議会

【本アンケート調査について】

- (1) 本アンケートは、令和5年10月31日時点で、**下北地域**（むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村）及び**上北地域**（野辺地町・横浜町・東北町・七戸町・六ヶ所村）**にお住まいの15歳以上の方から無作為に抽出し、送付させていただきました。**
※ご本人様がお答え出来ない場合は、代わりにご家族やご友人の方がお答えください。
- (2) 回答は、**選択肢の中からあてはまる番号を選び、回答欄にその番号を記入**してください。
※なお、設問ごとに回答する番号の数など、回答方法が指定されていますので、ご注意ください。
- (3) 設問数は11問、回答にかかる時間の目安は10分程度です。
- (4) 回答後は、アンケート用紙を、**同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、令和6年1月31日（水）までに、郵便ポストに投函**してください。
- (5) 本アンケートは無記名の調査であり、ご回答を頂いた内容は全て統計的に処理しますので、個人を特定するような情報は一切公開されません。

【お問い合わせ先】

- ◆ JR大湊線活性化協議会事務局（むつ市 企画政策部 企画調整課内）
TEL：0175-22-1111（内線2313）、E-mail：mt-kikaku@city.mutsu.lg.jp

1 あなた自身について

【問1】あなた自身のことについてお伺いします。（回答する番号は1つ）

項目	選択肢	回答欄
性別	① 男性 ② 女性 ③ その他	
年齢	① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上	
職業	① 会社員 ② 公務員 ③ 団体職員 ④ 自営業 ⑤ 主婦・主夫 ⑥ パート・アルバイト ⑦ 学生 ⑧ 無職 ⑨ その他	
居住地域	【下北地域】 ① むつ市 ② むつ市川内 ③ むつ市大畑 ④ むつ市脇野沢 ⑤ 大間町 ⑥ 東通村 ⑦ 風間浦村 ⑧ 佐井村 【上北地域】 ⑨ 野辺地町 ⑩ 横浜町 ⑪ 東北町 ⑫ 七戸町 ⑬ 六ヶ所村	
自動車運転免許の有無	① 有り ② 無し	
自家用車の保有の有無	① 有り ② 無し	

3 JR大湊線のサービス改善策について

【問4】あなたが必要だと思う「JR大湊線のサービス改善策」を最大で5つまで、下表の①～⑳の中から番号を選び、回答欄に番号を記入ください。

※（ ）がある選択肢を回答した場合は、（ ）内に具体的な回答を記入してください。

項目	選択肢
(1)運行本数の増加	① 平日の運行本数の増便 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ② 休日の運行本数の増便 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ③ 地域のお祭りやイベント開催時の増便運行
(2)運行時刻の改善	④ 始発の運行時刻の改善 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ⑤ 終発の運行時刻の改善 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ⑥ 分かりやすい周期的な運行時刻にする ※例) 8時00分、9時00分
(3)利用料金の軽減	⑦ 運賃の割引 ・具体的な割引額（ 円⇒ 円） ⑧ 他の公共交通機関との乗り継ぎ時の運賃割引 ⑨ 周辺施設を利用した際の料金割引 ⑩ 地域のお祭りやイベント開催時の運賃割引
(4)鉄道・路線バス等との乗り継ぎ改善	⑪ 青い森鉄道との乗り継ぎ時間の改善 ⑫ 八戸駅直通便(快速しもきた)の増便 ⑬ 他の公共交通機関との乗り継ぎの場所や運行時刻等の情報提供の改善
(5)駅の駐車場や駐輪場の改善	⑭ 駅の駐車場の規模拡大 ⑮ 駅の駐輪場の規模拡大
(6)所要時間の短縮	⑯ 快速列車の運行の追加 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ⑰ 新駅の設置 ・具体的な地域 ⇒（ 地域）
(7)運行車両の改善	⑱ 運行車両の増加 ⑲ 車両内の環境改善 ※例:冷暖房、トイレ ⑳ 車両内でのイベントやグッズ販売 ㉑ サイクルトレイン（車両内への自転車の持ち込み）
(8)駅舎の改善	㉒ Suica（モバイル Suica）への対応 ㉓ みどりの窓口の設置 ㉔ 駅舎内の環境改善 ※例:冷暖房、トイレ
(9)その他	㉕ その他（ ）
回答欄	

【問5】問4で選択したサービスの向上によって、あなたのJR大湊線の利用回数は増えますか。
(回答する番号は1つ)

選択肢	回答欄
① サービスの向上によって、利用が増える ⇒ 問6の回答後、問8以降を回答	
② 分からない ⇒ 問8以降を回答	

【問6】問5で「サービスの向上によって、利用が増える」を選択された方にお伺いします。
(回答する番号は1つ) ※その他を選択した場合は（ ）内にその内容を記入してください。

項目	選択肢	回答欄
(1)利用頻度はどの程度増えますか	① 週5日以上 ② 週4日 ③ 週3日 ④ 週2日 ⑤ 週1日 ⑥ 月2～3回 ⑦ 月1回 ⑧ 年3～4回 ⑨ 半年に1回 ⑩ 年1回	
(2)どのような利用目的が増えますか	① 通勤 ② 通学 ③ 買物 ④ 通院 ⑤ 食事 ⑥ 趣味・娯楽 ⑦ 観光 ⑧ 出張 ⑨ イベント ⑩ その他（ ）	

【問7】問2で「② 全く利用していない」を選択された方にお伺いします。

JR大湊線を利用していない理由をお答えください。(回答する番号は1つ)

※その他を選択した場合は()内にその内容を記入してください。

選択肢	回答欄
① 日常生活の中でJR大湊線を利用する目的がないから ② JR大湊線を利用する魅力的なイベントや観光地などが無いから ③ 自家用車利用の方が便利だから ④ 他の公共交通(バス・タクシー)利用の方が便利だから ⑤ その他()	

4 JR大湊線に対する考えについて

【問8】JR東日本では、地域の方に現状を御理解いただくとともに、持続可能な交通体系を建設的に議論していくため、令和4年7月28日、2019年度実績において平均通過人員が2,000人/日未満の利用の少ない線区を初めて公表しています。あなたは、JR大湊線がその対象線区の一つとなっていることを知っていますか。(回答する番号は1つ)

※JR大湊線の平均通過人員(2019年度)533人/日

選択肢	回答欄
① 知っていた ② 知らなかった	

【問9】あなたは、現在のJR大湊線について、どのようにお考えですか。(回答する番号は1つ)

※その他を選択した場合は()内にその内容を記入してください。

選択肢	回答欄
① 生活路線として必要 ② 観光路線として必要 ③ 生活・観光両方の面で必要 ④ できればあった方がよい ⑤ なくても困らない ⑥ 必要ない ⑦ その他()	

【問10】今後、JR大湊線の運行を安定して継続させていくためには、地域全体で支えていくことが必要と考えます。あなたのご協力いただけることはありますか。(回答する番号は1つ)

※その他を選択した場合は()内にその内容を記入してください。

選択肢	回答欄
① 積極的な鉄道の利用 ② ボランティア活動 ※例:駅や駐車場の清掃、花壇の整備 等 ③ 駅や周辺地域の活性化イベントの企画・開催 ※例:物販、作品の展示 等 ④ 金銭的な負担 ※例:寄附 等 ⑤ その他() ⑥ 特になし	

【問11】JR大湊線が、地域の皆様をはじめ、地域外の方にも愛され、利用していただくためのアイデアを募集します。具体的なアイデアがございましたらご記入ください。

自由記載

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。